

第3期ましこ未来計画推進シート（総括シート）

令和3（2021）年度

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる					第1四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	83.6	—	—
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	100	(4-6)24	+1
	②人口の社会動態（20～30代）	人	▲92	▲85	(4-6)▲29	+7
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.9	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	—
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	304	222	+128
	③センター新規相談者数	人	21	22	1	—
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	59	49	—
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	38	+2
	環境保全実施面積(カバー率)	%	75	76.0	76	—
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	400	—	—
	リサイクル率	%	28	29.0	—	—
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	1	1	—
	②刑法犯発生件数	件	68	77	22	▲18
	交通事故発生件数（人身）	件	17	23	8	▲3
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①保育料、副食費の無償化：保155人副201人 子育て応援手当支給開始：1,498/1,779世帯 結婚相談員連絡協議会開催、若者定住奨励金：申請1件、子育て世帯家賃補助：申請1件 ②お試し住宅とツアーリサイクル率：利用なし、移住相談：58件、空き家バンク：登録12件成約3件</p> <p>2 ①集団検診：369名 健康デー：149名 個別栄養相談：8名 結果説明会：56名</p> <p>3 ①命の大切さについての普及啓発活動の実施 ②サロン、教室は感染予防対策を取り実施。また、ワクチン接種会場にて教室等の勧誘チラシ配布。 ③障がい者支援センターと連携を図り障がい者ニーズの把握に努めた。 ④後見人制度利用申請支援：1件</p> <p>4 ①補助金申請受付 バイオマスストーブ：1件 太陽光補助金：3件 ②森林多面的機能発揮対策事業(3地区)の補助申請、前沢町有林維持管理業務委託契約 多面的機能支払交付金事業取組み組織(20地区)の確認検査と今年度事業の打合せの実施 ③生ごみ処理事業：家庭系58t(全84t) エコ土曜日を4月と6月に実施：9.5t</p> <p>5 ①生田目地区において地区防災計画作成打合せ 災害時の警戒レベル変更によりチラシを全戸に配布 ②青色防犯パトロールの実施、防犯灯の設置：LEDへの更新17、新規11 交通安全教室の実施とスクールガードリーダーへ委嘱状交付 交通安全教室：23回(内高齢者2回35人) 免許返納：8人 スクールガード：76名 特殊詐欺電話機購入補助：4件</p>	<p>1 ①保育料・副食費については、今年度より実施。子育て応援手当は順調であるが未申請者には8月に再通知を行う。奨励金・補助金については、新制度のため効果的な手法を検討し周知を図る。 ②お試し住宅は緊急事態宣言解除後に向けた準備を進める。移住相談件数については、伸びているので寄添った支援により着実に定住に繋げる。空き家については、優良物件の掘り起こしに努め登録物件の充実を図って行く。</p> <p>2 ①検診の受診率向上のため勧奨を行うと共に健康意識を持つよう引き続き結果説明会を実施する。 3 ①引き続き、普及啓発活動を行う。 ②新規サロンの開設を目指し、相談支援を行う。 ③障害福祉サービスに関する地域資源が不足しているため、対応策を検討する。 ④相談実績を基に窓口設置に向けた協議を行う。</p> <p>4 ①町内にある充電施設を4カ所から増やす取組みを検討する。また太陽光発電等への補助により次世代エネルギーの利用促進を図る ②森林多面的機能発揮対策事業について引き続き支援を行って行く。多面的機能支払交付金事業については、新規予定地区への説明会を積極的に行い組織づくりを推進する。 ③家庭用生ごみは減少傾向にあるが、エコ土曜日の持ち込み量は増加傾向であり今後も広報等で周知しリサイクル率向上を図る。</p> <p>5 ①地区防災経計画策定については、引き続き打合せを行い、ハザードマップの年度内作成を目指す。 ②青色パトロールは犯罪抑制のため継続して実施する。交通安全教室についても、高齢者・学生・園児を対象に引き続き行い、スクールガードについては新規登録者の確保に取り組んで行く。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート（総括シート）

令和3（2021）年度

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる					第2四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	83.6	—	—
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	100	50	+5
	②人口の社会動態（20～30代）	人	▲92	▲85	▲44	±0
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.9	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	—
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	304	239	+75
	③センター新規相談者数	人	21	22	5	—
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	59	49	—
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	38	+2
	環境保全実施面積(カバー率)	%	75	76.0	76	—
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	400	—	—
	リサイクル率	%	28	29.0	—	—
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	1	1	—
	②刑法犯発生件数	件	68	77	47	▲7
	交通事故発生件数（人身）	件	17	23	13	▲4
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	0	±0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①ましコッコハウス利用者(7・9月)2,012人(内自習室61人)、ファミリーサポート会員募集。 子育て応援手当支給:1,772/1,786世帯 若者定住奨励金:申請5件、子育て世帯家賃補助:0件 ②お試し住宅:延べ3件、ツアー:0件、移住相談:45件、空き家バンク:登録8件 成約8件</p> <p>2 ①集団検診:1,731人 健康デー:100人 個別栄養相談:8名 結果説明会:956人</p> <p>3 ①命の大切さについての普及啓発活動の実施 ②サロン、教室は感染予防対策の確認・相談を行い開催。シルバー人材センターの新たな事業への取組みの準備を進めた。 ③障がい者支援センターと連携を図り障がい者ニーズの把握に努めた。 ④後見人制度利用申請支援を行うと共に、窓口設置関係課において共通認識を深めた。</p> <p>4 ①補助金申請 太陽光パネル設置:4件 太陽光充電器設置:2件 ②森林多面的機能発揮対策事業(3地区)と多面的機能支払交付金事業(20地区)の取組みによる里山整備。多面的機能支払交付金事業の新規加入促進(小宅地区) ③生ごみ処理事業:家庭系62t(全88t) 廃油0.56t エコ土曜日を8月に実施:3.6t</p> <p>5 ①生田目地区において地区防災計画作成打合せ ②交通安全教室:14回 972人(内13回幼児685人) 青色防犯パトロールの実施、防犯灯の設置:17基(LEDへ更新9、LED→LED5、新規3) 特殊詐欺電話機購入補助:6件 免許返納:13人 スクールガードリーダーの月例活動報告書受理 益子町通学路安全対策推進協議会において、今年度申請5ヶ所、過去の申請2ヶ所の現場確認</p>	<p>1 ①ましコッコハウス利用者は第一四半期より微増しており、今後は保護者向けの行事等も実施し子育て支援を更に進めて行く。奨励金については、自治会加入要件等、補助制度の検討を行う。 ②新規のお試し住宅掘起しのため不動産会社と連携を行う。移住相談会は宣言解除により開催に向けての準備を行う。空き家バンクは、登録件数は昨年より大幅に増加し、成約率も7割(成約66/登録93)となり、今後も制度の周知を図る。</p> <p>2 ①集団検診の際、安心して受診できる体制整備する。また、運動習慣定着に向け、随時ポスター・チラシ等での啓発を行う。</p> <p>3 ①引き続き、普及啓発活動を行う。 ②サロン、教室は引き続き感染対策を徹底し行う。シルバー人材センターの新規事業の実施を図る。 ③センター職員と定期的に情報共有を図る。 ④窓口設置のため、関係各課において問題点の洗出しを行い、運用体制について意見を集約する。</p> <p>4 ①EV導入補助金の活用を図り、一方で充電施設の拡充を推進して行く。太陽光発電を始め環境に関する各種補助金のPRを行う。 ②森林多面的機能発揮対策事業は、新規地区の掘起しを行う。多面的機能支払交付金事業については、新規の加入促進と事故への注意喚起を行う。 ③資源物回収、生ごみ収集は更なるPRを行う。11月の環境美化運動向け、安全対策等の検討。</p> <p>5 ①年内に防災計画(生田目地区)を各戸配布 ②青色パトロールは犯罪抑制のため継続して実施する。交通安全教室についても、高齢者・学生・園児を対象に引き続き行う。益子町通学路安全対策推進協議会での意見を参考に、今後の安全対策に取り組んで行く。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート（総括シート）

令和3（2021）年度

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる					第3四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	83.6	—	—
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	100	84	+27
	②人口の社会動態（20～30代）	人	▲92	▲85	▲68	▲6
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.9	—	—
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	—
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	304	256	+85
	③センター新規相談者数	人	21	22	8	—
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	59	49	—
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	39	±0
	環境保全実施面積(カバー率)	%	75	76.0	76.0	—
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	400	—	—
	リサイクル率	%	28	29.0	—	—
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	1	2	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	77	63	▲35
	交通事故発生件数（人身）	件	17	23	16	▲4
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	2	+1

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①ましコッコハウス利用者(10-12月)1,944人(内自習室59人)、結婚相談員情報交換会(芳賀広域、町) 定住奨励金：申請10件、子育て世帯家賃補助:0件 お知らせ版で定住奨励金の広報</p> <p>②お試し住宅：延べ3件、ツアー：2件、移住相談：51件、空き家バンク：登録4件 成約2件</p> <p>2 ①集団検診：1,985人 健康デー：150人 個別栄養相談：18名 結果説明会：556人</p> <p>3 ①命の大切さについての普及啓発活動の実施 ②サロン、教室は活動内容確認と感染予防対策の指導。新規運動教室の開催(10回)。シルバー人材センター新規事業の実施準備。</p> <p>③障がい者支援センターと連携を図り障がい者ニーズの把握に努めた。</p> <p>④後見人制度利用申請支援と、総合窓口設置関係課において検討会を実施。</p> <p>4 ①補助金申請 太陽光パネル設置：6件 太陽光充電器設置：3件</p> <p>②とちぎの元気な森づくり事業に星の宮共有地保全会が採択見込み。多面的機能支払交付金事業、来年度より取組み(小宅西・船橋自治会)</p> <p>③生ごみ処理事業：家庭系 62t(全 90t) 廃油 0.52t 小型家電:4.6t エコ土曜日を10,12月に実施:7.5t 生ごみ処理事業のパネル展示によるPR 社会福祉協議会共催でフードバンクの実施</p> <p>5 ①生田目地区において地区防災計画資料配布</p> <p>②交通安全教室:20回 1,121人(内1回小学生55人 他は幼児1,066人) 青色防犯パトロールの実施、防犯灯の設置:41基(更新25新規16) 特殊詐欺電話機購入補助:2件 免許返納:10人 スクールガードリーダーの月例活動報告 通学路安全合同点検(再点検2ヶ所、新規5ヶ所)</p>	<p>1 ①ましコッコハウスのファミリーサポートセンター機能の強化を図る。また、3～5月にかけ結婚イベント開催を計画。奨励金は、順調に伸びているが、家賃補助が伸び悩んでいるため、制度周知を図る。</p> <p>②利用者ニーズに合ったツアーの催行。オンラインセミナー等を活用し、様々な情報発信を行う。</p> <p>2 ①未受診者への受診勧奨の効果が見られたため引き続き実施。安心して受診できる体制整備。運動習慣定着に向け、随時ポスター・チラシ等での啓発を行う。</p> <p>3 ①引き続き、チラシ配布等で普及啓発活動を行う。②運動教室修了者に、自主的な運動活動への支援を行う。シルバー人材の新規事業の実施を図る。いきいきクラブの会員確保と活動支援を行う。③センター職員と定期的に情報共有を図る。</p> <p>④総合窓口設置のため、相談業務量の可視化を行い、体制設計の検討を引き続き行う。</p> <p>4 ①EV導入補助金の周知を図り、一方で充電施設の拡充を推進する。太陽光発電を始め環境に関する各種補助金のPRを行う。</p> <p>②森林多面的機能発揮対策事業は、新規地区の掘起しを行い、とちぎの元気な森づくり事業については星の宮共有地保全会の活動支援を行う。</p> <p>③資源物回収、生ごみ収集は更なるPRを行う。フードバンクの継続的に実施して行く。</p> <p>5 ①必要に応じ防災計画(生田目)の見直しを行う。②青色パトロールは犯罪抑制のため継続して実施する。交通安全教室についても、引き続き行う。特殊詐欺電話機購入補助のPR。新規スクールガードの勧誘を行い、また合同点検の対策箇所を公表し、交通安全対策に取り組んで行く。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート（総括シート）

令和3（2021）年度

基礎目標	幸せを感じる暮らしをつくる					第4四半期
区分	成果指標・KPI	単位	基準値	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	82.0	83.6	—	—
政策1	①年間出生数（4～3月）	人	109	100	106	+35
	②人口の社会動態（20～30代）	人	▲92	▲85	▲104	+16
政策2	①メタボ予備軍の割合	%	11.1	10.9	11.2	+0.2
政策3	①生活支援組織づくり	組織	0	1	0	±0
	②教室・サロン参加者実人数	人	342	304	261	+90
	③センター新規相談者数	人	21	22	19	+3
	④福祉に関する総合窓口の設置	—	未設置	未設置	未設置	—
政策4	①EV等保有台数	台	49	59	43	—
	②里山整備個所数	ヶ所	36	40	40	+1
	環境保全実施面積(カバー率)	%	75	76.0	76.0	+1.0
	③1人1日当たり家庭系ごみ排出量	g	421	400	449	±0
	リサイクル率	%	28	29.0	26.1	▲0.1
政策5	①自治会（地区）の防災計画策定	自治会	1	1	2	+1
	②刑法犯発生件数	件	68	77	63	▲35
	交通事故発生件数（人身）	件	17	23	21	▲4
	特殊詐欺発生件数	件	0	0	2	+1
実施内容・成果の総括			次期四半期以降への方針			
1 ①保育料無償化や子育て応援手当などの子育て支援策や結婚・妊娠への支援事業を着実に実行し、年間出生数が前年度より35人増加。年度目標値を6人上回った。 ②お試し住宅、空き家バンク、移住相談等の実施により転入者の増加を図った。前年度より改善しているが、目標達成には及ばなかった。 2 ①新型コロナウイルス感染症に注意を払いながら集団健診及び健診結果説明会、健康デー、健康・栄養相談、運動教室などを実施し、健康意識向上のための啓発、指導等を行った。ここ数年は実績が横ばい状態となっている。 3 ①命の大切さについての普及啓発活動を実施。 ②介護予防教室及び高齢者サロンは一部休止していたため、目標の人数に届かなかった。 ③障害者相談支援センターと連携を図り、障害者のニーズ把握に努めた。 ④健康福祉課及び高齢者支援課による総合相談窓口検討会議を実施した。 4 ①（1～3月）太陽光パネル2件、太陽光充電器3件、木質バイオマスストーブ1件の設置申請に対し交付を決定した。 ②森林・多面的機能発揮対策事業として現在3地区が里山保全に向けた活動を行っている。 ③新たにインクカートリッジ及び充電式電池の回収を開始。リサイクル率が80%を超えている徳島県上勝町のごみ分別状況を視察した。 5 ①生田目地区の地区防災計画の確認。新町自治会で消火栓、格納箱の使用方法確認を行った。 ②（対前年）刑法犯は35件の減、交通事故は4件の減、特殊詐欺は1件の増。特殊詐欺対策電話機購入補助について広報紙でPRした。				1 ①これまでの子育て支援策に加え、ファミリーサポートセンターの利用促進、放課後児童クラブ利用料助成などにより、安心して子育てができる環境を整えていく。 ②お試し住宅候補の掘り起こし、移住体験の機会の増加、移住相談や空き家バンク制度の周知に努める。 2 ①健診の受診対象者に合わせた勧奨の工夫と結果説明会における丁寧な指導のほか、運動や栄養を学ぶ機会を充実させ、健康な体づくりへの意識を高めていく。 3 ①関係課や関係機関と連携し、地域ぐるみの生活支援事業を検討する。 ②教室・サロンはコロナ感染対策を徹底し4月から再開する。 ③障害者相談支援センターとの定期的な情報共有により一貫した支援に努める。 ④福祉に関する相談業務の状況を把握し、必要な体制を検討していく。 4 ①EV購入補助金の周知と並行して充電施設の拡充を推進する。太陽光発電など次世代エネルギー利用推進に関する各種補助金のPRを行う。 ②とちぎの元気な森づくり市町村交付事業が終了する地区には継続的に整備ができるよう対応していく。 ③ごみをさらに分別できるか検討していく。フードバンクを活用した食品ロスの削減に努める。 5 ①地区防災計画の修正があれば自治会と調整を行う。 ②青色防犯パトロール及び交通安全教室は継続して実施していく。特殊詐欺を発生させないための注意喚起を行う。		

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	企画課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現								
施策	みんなで子育てするまちの実現	進捗状況	100%								
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—								
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	100	現状値	106	人					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	⑤「若者定住促進住まいづくり奨励金」および「若年子育て世帯家賃補助金」制度開始(4月~)、両制度の周知・広報と交付事務	<ul style="list-style-type: none"> 両制度の紹介記事を町HPおよびベリーマッチどちぎに掲載。 両制度の周知用チラシ・ポスターを作成。 家賃補助の対象となる可能性のある方にチラシを送付。 町内の保育園・幼稚園等にチラシ・ポスターを配布。 								
	5月		<ul style="list-style-type: none"> 両制度について町内各自治会長に周知等の協力を依頼。 								
	6月		<ul style="list-style-type: none"> 町移住定住ワンストップサイト中「子育て・教育」情報集約ページを更新(両制度と保育料無償化枠拡大関係)。 奨励金【申請:1件】 家賃補助【申請:1件】 								
	7月	⑤両制度の周知・広報と交付事務	<ul style="list-style-type: none"> 両制度の紹介記事を広報ましこ7月号に掲載。 「ましこ里山手帖」(7月に改訂版完成)に両制度の紹介記事を掲載し、配布を開始。 奨励金【申請:0件】 家賃補助【申請:0件】 								
	8月		<ul style="list-style-type: none"> 奨励金【申請:2件】 家賃補助【申請:0件】 								
	9月		<ul style="list-style-type: none"> 自治会長に対し、両制度について改めて案内するとともに、アパート入居者の自治会加入に関する実態調査を依頼。(回答期限は10月末) 奨励金【申請:3件】 家賃補助【申請:0件】 								
	10月	⑤両制度の周知・広報と交付事務	<ul style="list-style-type: none"> 奨励金【申請:2件】 家賃補助【申請:0件】 								
	11月		<ul style="list-style-type: none"> 奨励金【申請:4件】 家賃補助【申請:0件】 								
	12月		<ul style="list-style-type: none"> 奨励金制度についてお知らせ版1月上半期号に掲載。 アパート入居者の自治会加入に関する実態調査の結果を自治会長にお知らせした。 奨励金【申請:4件】 家賃補助【申請:0件】 								
	1月	⑤両制度の周知・広報と交付事務	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長会議時に両制度のチラシを配布し、周知した。 奨励金【申請:1件】 家賃補助【申請:1件】 								
	2月		<ul style="list-style-type: none"> 奨励金【申請:2件】 家賃補助【申請:0件】 								
	3月		<ul style="list-style-type: none"> 奨励金【申請:1件】 家賃補助【申請:0件】 								

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>両制度の周知を開始し、特に家賃補助の対象となる可能性のある方には直接チラシを送付した。それぞれ問い合わせは数件あったが、交付申請はそれぞれ1件ずつであった。奨励金については税務課による新築家屋調査時にチラシの配付を依頼しているため、今後申請数が伸びていくと思われる。いずれにせよ、新制度であるため効果的な手法を検討し、周知に努めていきたい。</p>
第2四半期	<p>奨励金については申請数が順調に伸びている印象だが、家賃補助については6月に受け付けた1件目以降、申請がない状況にある。近隣から町内のアパートへの転入を検討している子育て世帯から問合せがあり、検討中のアパートを区域とする自治会長にアパート入居者の自治会加入の可否について確認したところ、事例がないため現段階では認められないとの回答があった。その周辺の自治会にも確認したところ同様である自治会が多く、制度利用が進まない一因であると考えられるため、アパート入居者の自治会加入に関する実態調査を全自治会を対象に行い、補助制度のあり方について検討したい。</p>
第3四半期	<p>奨励金については引き続き申請数が順調に伸びているが、家賃補助については1件目以降、申請がない状況にある。 なお、9～10月に全自治会を対象に実施したアパート入居者の自治会加入に関する実態調査では、回答したほとんどの自治会(60/71自治会)が加入を認めているという回答であったため、補助制度のあり方そのものに対する検討までは必要がないことが判明した。 今後は、両制度について継続的に自治会向けの周知に努めるとともに、家賃補助制度について補助対象となりうる世帯への周知に努めていく。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>奨励金については継続的に申請があり、令和3年度合計20件と当初の想定を上回る件数となった。一方、家賃補助は1月に新たな申請が1件あったものの、年度合計2件ということで、当初の想定よりも少ない結果となった。 次年度は引き続き制度の周知に努めしていくとともに、家賃補助については利用しやすい制度となるよう要件見直しについて検討する。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・周知、PRを強化して、子育て世代の定住数が増加することを期待する。</p> <p>・年間出生数は目標を達成していますが、今後も若年子育て世帯が定住できるように推進して下さい。</p>	<p>③点検・検証および改善点等並びに④外部検証委員会の意見・提言に基づき、次年度以降も取組を継続していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	健康福祉課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現								
施策	みんなで子育てるまちの実現	進捗状況	100%								
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	一								
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	100	現状値	106	人					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①益子らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討	(3)チャレンジクラブ視察(カローリング) (4)高島先生のリトミック講座開催4/19(偶数月) 17:00~19:00自習室として開放(6人) 利用者:640人 (5)保育料、副食費無償化開始(保155人、副201人) 子育て応援手当対象者リスト作成								
	5月	③出会い系等の検討 ④ましコッコハウスの充実	(4)自習室PR(自治会回覧、お知らせ版、フェイスブック等) 利用者:594人(うち自習室:10人) (5)子育て応援手当申請書発送								
	6月	⑤子育て応援手当等による支援	(3)結婚相談連絡協議会開催6/23 (4)親子ヨガ6/9(10組) 利用者:707人(うち自習室:20人) (5)子育て応援手当支給開始(別監申請:7世12人14万円) 実績:1498世帯84%、2688人86%、3684万円88%								
	7月	①益子らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討	(4)ファミリーサポートセンター提供会員募集 夏祭り実施7/29(15組×2部) 子育て支援隊協力 利用者:1014人(うち自習室:15人) (5)子育て応援手当支給(別監申請:3世 4人 8万円) 実績:1667世帯93%、2958人95%、4033万円97%								
	8月	③出会い系等の検討 ④ましコッコハウスの充実	(4)おはなし会がやってくる(8/28)中止 利用者:581人(うち自習室:21人) ※町内利用 (5)子育て応援手当支給(別監申請:なし) 実績:1735世帯97%、3040人98%、4119万円98% お知らせ版再掲載								
	9月	⑤子育て応援手当等による支援	(4)子育て支援員研修の案内 利用者:417人(うち自習室:25人) ※町内利用 (5)子育て応援手当支給 未申請者再通知ハガキ50通 実績:1772世帯99.22%、3084人99.52%、4172万円 99.69%(別監申請:なし)								
	10月	①益子らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討	(4)親子ヨガ10/6(10組)、ハロウィン運動会(14組) 利用者:755(うち自習室:27人) (5)子育て応援手当支給 1世帯、1人、1万円								
	11月	③出会い系等の検討 ④ましコッコハウスの充実	(3)結婚相談員婚活イベント意向調査 結婚サポート研修参加(5名、うち2名事務局) (4)ママのためのおしゃべり会11/8、15、22(3名) 利用者:537人(うち自習室:12人) (5)子育て応援手当支給 2世帯、2人、2万円								
	12月	⑤子育て応援手当等による支援	(2)田野中思春期教室12/21(47名) (3)芳賀広域結婚相談員情報交換会12/3(4名参加) 益子町結婚相談員意見交換会12/22(婚活イベント) (4)クリスマス会10/22(15組) 利用者:652人(うち自習室:20人)								
	1月	①益子らしい自然を活かした遊びの検討 ②学童期からの思春期教室の検討	(3)結婚相談員打合せ会議1/12(3月婚活イベント中止) (4)ましコッコハウススタッフ育脳研修1/30~2/1 利用者:546人(うち自習室:10人) (5)子育て応援手当清算 実績:1775世帯99.38%、 3087人99.61%、4175万円99.76%								
	2月	③出会い系等の検討 ④ましコッコハウスの充実	(1)益子中思春期教室(94人) (4)親子ヨガ2/16(10組) 利用者:427人(自習室:休止) ファミリーサポートセンター提供会員登録1名								
	3月	⑤子育て応援手当等による支援	(2)益子西小思春期教室3/15(60人)七井中学校思春期教室(54人) (3)婚活イベント5月実施の可否決定 (4)ひな祭り実施3/3(10組)食改さん4名 利用者:609人(うち自習室:2人) (5)学童クラブ利用料助成制度の要綱を整備、周知ポスター作成・掲示依頼								

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>①、②についての具体的検討は行えなかった。次期以降に検討する。</p> <p>③結婚相談連絡協議会で出会いイベントについて検討したが、スポーツ交流のみでは人集めは難しく(社協の実績)、会食が可能になると開催は無理との結論。秋以降(コロナが落ち着いたら)に、内容も含め会議で検討する。</p> <p>④自習室の利用者がついてきた(小学生が多い)。夏休みは日中の利用もあるかもしれない。ニーズを見据えたい。</p> <p>⑤応援手当の申請は順調。7月以降は高校生のみ世帯や公務員が中心となる。8月上旬には未申請者に再通知する。</p>
第2四半期	<p>①、②についての具体的検討は行えなかった。次期以降に検討する。</p> <p>③結婚相談員関係は芳賀地方広域結婚相談員情報交換会が中止となるなど十分な活動ができない状態。出会いイベントについても、会食が伴わないと人集めは難しく、コロナの次の“波”を考えると計画が立てづらい。イベントではないスポーツ交流(例えばチャレンジクラブの数回コースなど)も検討したい。</p> <p>④自習室の利用者は益子小児が多いが、田野小、西小の子の利用も時々あり、子どもの居場所としても期待したい。また、季節のイベントや充実やママ・パパのおしゃべり会を開催するなど子育て支援にも努めたい。</p> <p>⑤応援手当の申請は9月末で概ね終了。支給率はR2年度と比べ極微増。</p>
第3四半期	<p>①については、大規模花火と似ているが、れんげ畠を作り、”花冠づくり”でPRできないか。また、遊びの達人などによる”自然を活かした遊び”がないか、活かす方法がないか検討したい。</p> <p>②ましこいきいき講座を活用し、1~2月にも中学校での思春期教室を予定している。感染対策を行いつつ、内容や実施方法を学校と協議し、実情に即した思春期教室を行いたい。</p> <p>③結婚相談員の意向調査では、婚活イベントは年度明け5~6月頃がよいとの回答が多かったが、結婚サポート研修の講師が、「いちご狩りは女性が集まる」と話していたことを受け、3月~5月頃に”いちご狩り”を計画したい。ただし、コロナの感染状況により中止も想定する必要がある。</p> <p>④ファミサポの提供会員さんの退会届があり、提供会員の確保が課題となっている。</p> <p>⑤応援手当の清算が未済で申請を受けることが可能だったため受け付けた。年明けには清算したい。</p>
総括(第4四半期含)	<p>①については、上記のほか親水公園などの既存の施設を活かす方法も視野に、他課との協同を検討したい。</p> <p>②感染対策を行いつつ実施した。来年度も、内容や実施方法を学校と協議し、実情に即した思春期教室を行いたい。</p> <p>③いちご狩りの婚活イベントを計画したが、3月・5月とも実施を見送った。改めて夏~秋にかけてのイベントを計画したい。</p> <p>④育脳研修の内容を踏まえ、運営方針を明確にする必要がある。育脳リーフレット(シリーズ)の作成に取り組みたい。ファミサポの提供会員報償費について要綱等を整備する必要がある。</p> <p>⑤子育て応援手当は例年どおり6月に実施。学童クラブ利用料助成制度については実施してから検証したい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
総括	<p>①継続性について Aこのまま継続1人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 A これからもいろいろな企画を検討実施し、みんなで子育てるまちの実現を図って下さい。 B ファミサポの利用状況などから考慮して、今後の運営の方向性について検討の余地があると思われる。</p>	<p>・今後も子育ての町の実現を図るため、企画を実施し、婚活については、出会い系の場として婚活イベントを実施する準備を進みたい。</p> <p>・ファミサポについては、提供会員の登録者増を図るために、提供会員報償費について要綱等を整備し、また、町の広報等でファミサポの周知し、PRを図り登録、利用に結び付けたい。</p> <p>・今後の運営の方向性については、このまま利用のない状況が続くようであれば、必要性が低いと考えられるので、廃止を含めて検討したい。</p> <p>・思春期への取り組みについては、子供のころから、将来の自分の姿をイメージし、よりよい人生の設計ができるよう、情報の提供や、支援をしていきます。</p>

第3期ましろ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	学校教育課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現				
施策	みんなで子育てるまちの実現	進捗状況	100%				
関連する優先目標	1「子供を育てたいまち」	関連するSDGs	—				
KPI	年間出生数(4~3月)	本年度目標値	100	現状値	106	人	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	思春期教育 ②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月) ②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施(6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)		未実施 ②「自己理解の吟味」の学習を学活にて実施 益子中(5月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 益子中(6月) ②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 七井中(6月) ②「すばらしい命」の学習を家庭教育学級にて実施 田野小(6月) ②「体の成長とわたし」の学習を体育にて各小で実施(6月) ②「不安の悩みの解決にむけて」の学習を学活で実施 田野中(6月)			
	5月			②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月)			
	6月			②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月)			
	7月	②「成長していく心と体」の学習を学活で実施 益子中(7月) ②「男女の理解と助け合い」の学習を学活にて実施 七井中(7月)		②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月)			
	8月	②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月)		②「男女の特性」に関する学習を学活にて実施 田野中(9月)			
	9月	②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月)		②「男女が協力する社会」の学習を学活にて実施 田野中(9月)			
	10月	②「男女の体の変化」の授業を学活にて実施 七井小(11月) ②「不安や悩みを解決しよう」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「心身の機能の発達と心の健康」の学習を保健にて実施 七井中(11月)		②「男女の体の変化」の授業を学活にて実施 七井小(11月) ②「不安や悩みを解決しよう」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「心身の機能の発達と心の健康」の学習を保健にて実施 七井中(11月)			
	11月	②「私たちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「不安や悩みの解決に向けて」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月)		②「不安や悩みの解決に向けて」の学習を学活にて実施 七井中(11月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 益子中(11月) ②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月) ②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月)			
	12月	②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 田野中(12月)		②「生命誕生」の授業を学活にて実施 七井小(12月) ②「思春期教室(生命誕生)」の授業を学活にて実施 田野中(12月) ②「わたしたちの悩みや不安」の学習を学活にて実施 田野中(12月)			
	1月	②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②思春期教室を実施 七井中(1月)		②「私の誕生」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②思春期教室を実施 七井中(1月) ②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月)			
	2月	②「男女の体と心の変化」の学習を学活にて実施 益子西小(1月) ②「心身の発達と心の健康」の学習を保健で実施 田野中(1月) ②「いのちの大切さを学ぼう」の学習を思春期教室にて実施 益子小(2月)		②「いのちの大切さを学ぼう」の学習を思春期教室にて実施 益子小(2月)			
	3月						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>②学校の性教育の計画に従い、思春期教育を実施することができた。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>
第2四半期	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。養護教諭がT2として授業に参加する学校の実践があった。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>
第3四半期	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。合同訪問があった学校においては、成果と課題について養護教諭等に助言指導を行った。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>②学校の性に関する指導の計画に従い、思春期教育を実施することができた。 関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりすることで、効果的な学習ができるよう支援する。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・いろんな角度から「命」「自分」について考える機会が 増えていることは素晴らしいことだと思う。</p> <p>・今後も年齢にあつた思春期教育を実施して下さい。</p>	<p>・引き続き、効果的な学習ができるよう、関係機関との連携を図ったり、資料の提供を行ったりしていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	企画課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現								
施策	若者のUIJターンの推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	—								
KPI	人口の社会動態(20~30代)	本年度目標値	△ 85	現状値	△ 104	人					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	③オーダーメイドツアーの周知・開催、 お試し住宅の運営、新規お試し住宅の情報収集 ④移住相談の実施、 移住・定住ワンストップサイト「ましこの暮らし」の更新、「ましこ里山手帖」の一部改訂に向けた準備 ※ 支援員の設置や受入体制の充実は、基礎目標5政策3施策1において推進 ⑤空き家バンク制度運営、 固定資産税通知書に制度案内チラシを同封 ●R1年度開始の地方創生移住支援金※の周知・広報と交付事務 ※ 東京23区の在住者等が、県が運営する企業情報掲載サイトに掲載された求人に新規就業するなどして県内市町に移住した場合に、国・県・町が支援金を交付する制度	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 新規候補住宅の調査(調査の結果不採用) ④相談【企:3件】【道:20件】 ⑤バンク【登録:0件】【成約:1件】								
	5月	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:2件】【道:16件】 「ましこ里山手帖」改定内容検討 ⑤バンク【登録:5件】【成約:2件】 制度案内チラシを固定資産税通知書に同封し送付 ●移住支援金【申請:1件】									
	6月	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:9件】【道:8件】 「ましこ里山手帖」改定内容検討・決定 ⑤バンク【登録:7件】【成約:1件】									
	7月	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:1件】【道:19件】 「ましこ里山手帖」改定版完成・配布開始 ⑤バンク【登録:6件】【成約:3件】									
	8月	③お試し住宅【利用:1件】(7月に引き続き)、ツアー【利用:0件】 新規候補住宅の調査(調査の結果不採用) ④相談【企:0件】【道:8件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:2件】									
	9月	③お試し住宅【利用:1件】(8月に引き続き)、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:3件】【道:14件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:5件】									
	10月	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:4件】【道:12件】【オンライン:0件】 県主催のオンライン移住セミナーに参加し町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:3件】【成約:2件】									
	11月	③お試し住宅【利用:1件】(10月に引き続き)、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:5件】【道:17件】【オンライン:0件】 県主催のオンライン移住フェアに参加し町のPRを行った。 ⑤バンク【登録:0件】【成約:0件】									
	12月	③お試し住宅【利用:1件】、ツアー【利用:1件】 ④相談【企:5件】【道:8件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:0件】									
	1月	③お試し住宅【利用:1件】(12月に引き続き)、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:4件】【道:11件】 ⑤バンク【登録:0件】【成約:2件】									
	2月	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 ④相談【企:5件】【道:9件】 ⑤バンク【登録:1件】【成約:2件】									
	3月	③お試し住宅【利用:0件】、ツアー【利用:0件】 新規候補住宅の調査(調査の結果不採用) ④相談【企:3件】【道:12件】 ⑤バンク【登録:2件】【成約:1件】									

シート2【 四半期検証シート 】

<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>	
第1四半期	<p>③お試し住宅やツアーハウスは、緊急事態宣言等により利用がなかった。宣言解除後の再開に向け、準備を進める。 新規お試し住宅は、4月に調査した物件が調査の結果不採用となつたため、町内の不動産業者等と連携し、引き続き候補住宅の掘り起しに努める。</p> <p>④移住相談は、R1年度以降の傾向として道の駅での相談件数が伸びている。コロナ禍により都市部との往来が制限された期間があったが、地方移住への関心の高まりにより相談件数は前年度までに比べ大きく伸びているため、移住検討者それぞれに寄り添った支援により、一人ひとりを着実に移住へとつなげていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4~6月)】H29:29, H30:25, R1:32, R2:30, R3:58 「ワンストップサイト」は随時更新を行ってきた。今後もまちの魅力の発信に資する情報を迅速に掲載していく。 「ましこ里山手帖」は、町の様々な制度等の内容変更があったため、関係課と連携し改定内容を検討した。今後は印刷・製本業務を進め、成果物を効果的(適時・適所)に配付し、まちの魅力の発信につなげる。</p> <p>⑤空き家バンクは、R1年度から固定資産税納税通知書にチラシを同封して周知を進めており、相談件数も増加傾向にある。一方、老朽化が進んだ家屋や進入路が確保できない土地等、登録困難な物件に関する相談も増えている。また、優良な物件は早期に成約となり、登録物件の充実が課題となっているため、優良な物件の掘り起しに努めしていく。</p>
第2四半期	<p>③お試し住宅は県内在住の移住検討者による利用があった。ツアーハウスは緊急事態宣言等により第1四半期に引き続き利用がなかった。10月から全国的に宣言が解除となるため、今後の利用に期待したい。また、お試し住宅の機能拡充として、これまでの利用者や今後の利用予定者の要望に応じ、Wi-Fi環境を整備した。 新規お試し住宅は、8月に調査した2件目の候補物件が調査の結果不採用となつたため、引き続き町内の不動産業者等と連携して掘り起しに努める。</p> <p>④移住相談は第1四半期と同様の傾向であったため、引き続き取組を続けていくとともに、宣言解除により移住相談会も段階的に再開していくことになると思われるため、準備を進めていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4~9月)】H29:60, H30:47, R1:47, R2:56, R3:103 「ましこ里山手帖」は改訂版が完成したため、適時・適所での配付を進め、まちの魅力の発信につなげていく。</p> <p>⑤空き家バンクの登録実績(上半期)を過去と比較すると、R2までは10数件であったのに対し、R3は20件と大きく増えている。成約の状況についても、これまでの合計(R3年9月末時点)で成約66/登録93件であり、成約率は7割となっており、制度の周知が進んでいるとともに、有効活用されているといえるため、引き続き運用していく。</p>
第3四半期	<p>③お試し住宅は、緊急事態宣言の全国的な解除もあり、県外在住者の利用があった。利用者アンケートによれば7月に整備したWi-Fi環境が好評であったため、当面の間継続することとする。ツアーハウスについても人の流れの再開とともに利用が出てきたため、利用者のニーズに応えられるツアーハウスを催行できるよう、コミュニケーションを密にするとともに訪問先の開拓に努めたい。</p> <p>④移住相談は第1・第2四半期と同様に道の駅での相談件数が大きく伸びているため、引き続き取組を続けていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4~12月)】H29:76, H30:65, R1:68, R2:90, R3:154 「ワンストップサイト「ましこの暮らし」では、上半期はコロナ禍によるイベントの自粛等により情報の発信ができていなかったが、10月からは県主催のオンラインセミナー2件を始めとした情報の発信を再開した。今後も様々な情報発信を通じてサイトの活性化に努めたい。</p> <p>⑤空き家バンクは、4~12月の実績で、登録は前年から33%の増、成約は23%の増となっており、第2四半期同様に制度の周知が進んでいるとともに、有効活用されているといえるため、引き続き運用していく。</p>
総括(第4四半期含)	<p>③お試し住宅やツアーハウスは、まん延防止等重点措置により第4四半期中は新規の利用がなかった。また、2月にお試し住宅の制度要綱を改正し、貸付期間を1~2か月間から1か月に短縮する等の見直しを行った。次年度はより多くの方に移住体験の機会を提供できることとなるため、移住検討者の増加に期待したい。 新規お試し住宅は、3月に調査した物件が調査の結果不採用となつたため、町内の不動産業者等と連携し、次年度も引き続き候補住宅の掘り起しに努める。</p> <p>④移住相談は、企画課・道の駅ともに相談件数が大きく伸びたため、今後も引き続き取組を続けていく。 【企画課・道の駅での相談件数(4~3月)】H29:98, H30:91, R1:87, R2:127, R3:198 「ワンストップサイト「ましこの暮らし」では、上半期はコロナ禍によるイベントの自粛等により情報の発信ができていなかったが、下半期は県主催のオンラインセミナー・インタビューコラム「ましこのひと」等の情報の発信を再開した。今後も様々な情報発信を通じてサイトの活性化に努めたい。</p> <p>⑤空き家バンクの実績は下半期に伸びが鈍化したため、年間では前年度比:登録3%増、成約16%増に留まったが、制度開始(H29.2月)以降、一定の登録数を維持できているとともに、成約数も伸びていることから、制度の周知・活用が進んでいるといえる。今後も引き続き周知に努め、空き家・空き地の有効活用を進めていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について Aそのまま継続1人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 A 人口動態の数に関しては、実施したことがすぐに反映されるとも限らないので、継続で良いと思う。</p> <p>B コロナ禍の中ツアーや実施出来なかつたが、今後はあらゆる手段にて情報発信を行い目標達成して下さい。</p>	<p>③点検・検証および改善点等並びに④外部検証委員会の意見・提言に基づき、次年度以降も取組を一部改善のうえ継続していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	生涯学習課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	若者や子育て世代を応援するまちの実現								
施策	若者のUIJターンの推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	—								
KPI	人口の社会動態(20~30代)	本年度目標値	△ 85	現状値	△ 104	人					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	-	未実施								
	5月		未実施								
	6月		未実施								
	7月	②二十歳のつどい実行委員会にて、実行委員趣旨の説明	未実施								
	8月		②8/15二十歳のつどい実行委員会(zoom)14名								
	9月		未実施								
	10月	②25歳同窓会補助金要綱を策定	②10/15二十歳のつどい実行委員会(zoom)2名								
	11月		②25歳同窓会補助金要綱を検討 ②11/14二十歳のつどい実行委員会(zoom)3名								
	12月		②25歳同窓会補助金要綱を検討								
	1月	②二十歳のつどいにて、成人者に趣旨の説明	②25歳同窓会補助金要綱を検討								
	2月		②25歳同窓会補助金要綱を検討								
	3月		②25歳同窓会補助金要綱を検討								

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>②Uターン意識の醸成を図る取り組みの検討が必要である。</p>
第2四半期	<p>②実行委員に県外在住者も多く、Zoomにて実行委員会を開催。Uターン意識の醸成を図る取り組みの検討が必要である。</p>
第3四半期	<p>③全国の事例等を参考に要綱を検討しているが、全国的に事例が少なく、益子町にあった要綱を検討している。</p>
総括（第4四半期含）	<p>③全国の事例等を参考に要綱を検討しているが、全国的に事例が少なく、益子町にあった要綱を検討している。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・社会人になっても、同級生とつながり続ける仕組みはとても良いと思うので、今後の25歳同窓会補助金制度に期待する。</p> <p>・コロナ禍の中二十歳の集いを実施したことは一生の思い出になります。Uターンのきっかけになればいいのですが。</p>	<p>全国の事例等を参考に、益子町にあつた要綱を検討していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	健康福祉課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進				
施策	ライフステージに応じた健康づくりの推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉				
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.9	現状値	11.2	%	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー ②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着		①4月上旬、健診対象者への個別通知にて、受診勧奨 前年度までの実績による対象者： 新規40歳対象者：294名 肝炎対象者： がんクーポン券対象：乳(120名) 子宮(74名) *対象に合わせ、勧奨通知の工夫を実施 ②健康デー 54名 個別栄養相談 4名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示) ①集団健診5/11(火)64名 5/19(水)58名 5/23(日) 87名 5/29(土)60名 ②健康デー 45名 個別栄養相談 0名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示) ①集団健診6/10(木)100名 結果説明会 6月18日(金)33名 6/23(水)23名 ②健康デー 50名 個別栄養相談 4名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	5月			①集団健診7/7(水)144名 7/8(木)157名 7/16(金) 167名 7/24(土)157名 7/31(土)175名 結果説明会7/3(土)62名 7/15(木)52名 ②健康デー 39名 個別栄養相談 3名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	6月			①集団健診8/3(火)155名 8/12(木)143名 8/18(木) 168名 8/24(火)129名 結果説明会8/12(木)95名 8/17(木)173名 ②健康デー 16名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	7月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー ②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着		①集団健診9/26(日)175名 9/27(月)161名 結果説明会 9月4日(土)197名 9/7(火)95名 9/22 (水)202名 9/28(火)80名 ②健康デー 45名 個別栄養相談 5名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	8月			①集団健診10/10(日)171名10/13(水)173名10/14 (木)152名 10/28(木)182名10/29(金)142名 結果説明会 設定日なし ②健康デー 52名 個別栄養相談 7名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	9月			①集団健診11/6(土)11/10(水)151名11/17(水)161 名11/26(金)144名 結果説明会11/9(火)84名11/17(水)102名11/25 (木)71名 ②健康デー 55名 個別栄養相談 6名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	10月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー ②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着		①集団健診12/8(水)161名 12/12(日)183名 12/16 (木)204名 結果説明会12/3(金)155名 12/18(土)144名 ②健康デー 43名 個別栄養相談 5名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	11月			①結果説明会 1/7(金)58名 1/20(木)64名 1/23(日)144名 ②健康デー 46名 個別栄養相談 7名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	12月			①結果説明会 設定日なし ②健康デー 31名 個別栄養相談 3名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	1月	①住民健診(特定健診・がん検診)の普及啓発 受診後のフォロー ②健康意識向上のための普及啓発 (健康デー・個別栄養相談・各種健康教室) ③運動習慣の定着		①結果説明会 設定日なし ②健康デー 34名 個別栄養相談 3名 ③ましこと体操の普及啓発(ポスター掲示)			
	2月						
	3月						

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>①②前年度がコロナウイルス感染症の影響による、住民健診の受診控えがあった。安全に健診が受けられるよう環境調整をし、開催(3密を防ぐための受付時間の振り分けや、マスク着用の徹底、消毒の徹底等)昨年、コロナを理由に受診のキャンセルをした方をピックアップし、優先的に設定日の早い時期に自動予約割り当てを実施。住民健診から気持ちが離れないよう対策を講じた。また、健診勧奨資料は、対象に合わせて内容を工夫。また、健診受診を機に、自らの健康に意識をもっていただけるよう、結果説明会時に結果の振り返りを実施。受けで終わるだけでなく、その後、健康にな体つくりをする為に何をすべきかを専門職と共に考える機会を設けている。健康づくりのモチベーション維持の為の受け皿として、個別栄養相談、健康デーを開催。住民にも好評である。</p> <p>③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
第2四半期	<p>①②数年間に渡り、未受診であった対象の抽出を行い、受診勧奨を行った結果、9月末の受診者数は、昨年度の同時期よりも向上している。今後も、住民が安心して健診が受けられるよう体制を整えていく。</p> <p>③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
第3四半期	<p>①②数年間に渡り、未受診であった対象の抽出を行い、受診勧奨を行った結果、受診者数は、昨年度比120%と向上。今後も、住民が安心して健診が受けられるよう体制を整えていく。</p> <p>③随時、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>①②数年間に渡り、未受診であった対象の抽出を行い、受診勧奨を行った結果、受診者数は、昨年度比120%と向上。次年度も、住民が安心して健診が受けられるよう体制を整えていく。</p> <p>③今後も、ポスターやチラシの掲示を行っていく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・健康意識向上のため、継続が良い。</p> <p>・住民健診の普及啓発・健康意識向上の為の普及啓発・運動習慣の定着を図り、町民の健康を図って下さい。</p>	<p>住民の健康維持・増進を目標と掲げ、各事業を遂行していく。住民のニーズを踏まえ、柔軟に事業の展開をしていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	健康福祉課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実				
施策	住み慣れた地域で暮らすための支え合いと地域福祉の推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉				
KPI	地域ぐるみの生活支援組織づくり	本年度目標値	1	現状値	0	組織	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	5月	④命の大切さの普及啓発		④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	6月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	7月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	8月	④命の大切さの普及啓発		④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	9月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	10月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	11月	①助け合い・支え合いの地域づくり ④命の大切さの普及啓発		④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	12月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	1月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	2月	①助け合い・支え合いの地域づくり ④命の大切さの普及啓発		④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			
	3月			④普及啓発としてパンフレット・ボールペン・ポケットティッシュ等配布。			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場でボールペンやティッシュ等の配布を行っている。7月以降も継続して啓発を行っていく予定。自殺予防月間及び週間にはより力を入れていく。(9月、3月)</p>
第2四半期	<p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場でボールペンやティッシュ等の配布を行っている。自殺予防月間に併せ、リーフレットの配布も行った。</p>
第3四半期	<p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場や保健センターにおいてボールペンやティッシュ等の配布を行っている。</p>
総括(第4四半期含)	<p>④新型コロナウイルスワクチン接種会場や保健センターにおいてボールペンやティッシュ等の配布を行っている。自殺予防月間(3月)に併せ、リーフレットの配布も行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について Aこのまま継続1人 B改善・見直し1人 C廃止・終了</p> <p>②意見・提言 A さまざまな機会に啓発していく必要がある。 B 命の大切さの普及啓発は非常に重要であり、今後も進めて頂きたい。パンフレット・ポールピン・ポケットティッシュ等の配布以外に施策はないのですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が集まる様々な事業で、広く、自殺対策に関する普及啓発を継続していく。 ・各事業で、様子が気になる方や悩んでいる方への声掛けをする。啓発グッズに併せ、相談窓口の紹介をしていく。

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	高齢者支援課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実				
施策	高齢者の生きがいづくりの推進	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉				
KPI	介護予防教室及び高齢者サロン参加者実人数	本年度目標値	304	現状値	261	人	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進	①サロン記念行事・補助金交付【サロン:5団体】 ②管理者研修・従事者研修開催準備 ④シルバー人材センター新規事業実施準備・相談 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①健康講話、活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②管理者研修【1人】・従事者研修の開催【30人】 ④シルバー人材センター補助金交付・理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①相談【1件】・健康講話・補助金交付【サロン:1団体】 ②実施準備・相談 ④いきいきクラブ補助金交付【クラブ:19団体】・総会 ⑤関係各課・関係機関と連携	①サロン記念行事・補助金交付【サロン:5団体】 ②管理者研修・従事者研修開催準備 ④シルバー人材センター新規事業実施準備・相談 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	5月			①健康講話、活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②管理者研修【1人】・従事者研修の開催【30人】 ④シルバー人材センター補助金交付・理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	6月			①相談【1件】・健康講話・補助金交付【サロン:1団体】 ②実施準備・相談 ④いきいきクラブ補助金交付【クラブ:19団体】・総会 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	7月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進	①健康講話、活動内容の確認。感染予防対策の指導 ゆづくり農園サロン(栗生)開設 ②シルバー人材センターと新規事業の業務委託契約締結 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②シルバー人材センターと新規事業実施準備 ④シルバー人材センター理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②シルバー人材センターと新規事業打ち合わせ ④シルバー人材センター臨時総会・理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携	①健康講話、活動内容の確認。感染予防対策の指導 ゆづくり農園サロン(栗生)開設 ②シルバー人材センターと新規事業の業務委託契約締結 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	8月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②シルバー人材センターと新規事業実施準備 ④シルバー人材センター理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	9月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導 ②シルバー人材センターと新規事業打ち合わせ ④シルバー人材センター臨時総会・理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	10月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進	①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ④緊急事態宣言解除に伴い、各いきいきクラブ宛に活動勧奨通知。シルバー人材センターと打ち合わせ・情報交換 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ④緊急事態宣言解除に伴い、各いきいきクラブ宛に活動勧奨通知。シルバー人材センターと打ち合わせ ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ④シルバー人材センター理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携	①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ④緊急事態宣言解除に伴い、各いきいきクラブ宛に活動勧奨通知。シルバー人材センターと打ち合わせ・情報交換 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	11月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ②シルバー人材センターと新規事業実施準備 ④緊急事態宣言解除に伴い、各いきいきクラブ宛に活動勧奨通知。シルバー人材センターと打ち合わせ ⑤関係各課・関係機関と連携			
	12月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 運動教室の実施 ④シルバー人材センター理事会 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	1月	①ふれあいサロン運営支援 ②日常生活の支援体制づくり ④いきいきクラブ、シルバー人材センターの活動支援 ⑤地域包括ケアシステムの推進	①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④いきいきクラブ個別訪問による相談や支援、クラブ活動に関する相談対応 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④各自治会へいきいきクラブへの協力依頼、クラブ活動に関する相談対応 ⑤関係各課・関係機関と連携 ①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④各自治会役員会、会長会議にて情報交換、活動勧奨、来年度事業の打ち合わせ、いきいきクラブのサロンへの移行に関する打ち合わせ ⑤関係各課・関係機関と連携	①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④いきいきクラブ個別訪問による相談や支援、クラブ活動に関する相談対応 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	2月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④各自治会へいきいきクラブへの協力依頼、クラブ活動に関する相談対応 ⑤関係各課・関係機関と連携			
	3月			①活動内容の確認。感染予防対策の指導。 ④各自治会役員会、会長会議にて情報交換、活動勧奨、来年度事業の打ち合わせ、いきいきクラブのサロンへの移行に関する打ち合わせ ⑤関係各課・関係機関と連携			

シート2【 四半期検証シート 】

<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>	
第1四半期	<p>①6月末サロン・教室参加実人数222名(うちサロン71名、介護予防教室68名、自主教室83名) 感染予防対策が可能な会場は活動を再開している。コロナワクチン接種会場にて、教室等の紹介チラシを配布し周知に力をいれたところ少しづつ参加者数も増えてきている。自主団体や休止中のサロンについては、コロナワクチンの接種終了後の再開を目指している。今後、再開するにあたり、感染予防のため会場の確認や実施方法の検討をおこなっていく。新規サロンについては、7月オープン予定を目指して、相談支援をおこなった。</p> <p>②訪問型サービスAを実施できる準備として、シルバー人材センターに管理者研修・実施者研修を実施した。第2四半期に、シルバー人材センターが訪問型サービスAの事業を実施できるように関係機関と連携に努める。</p> <p>④いきいきクラブ・シルバー人材センターに補助金を交付した。シルバー人材センターの新規事業として、訪問型サービスAを実施できるように準備を進めていく。</p> <p>⑤関係各課・関係機関と連携を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>
第2四半期	<p>①9月末サロン・教室参加実人数239名(うちサロン86名、介護予防教室68名、自主教室85名) コロナウィルスの感染状況を隨時お知らせし、状況に応じて感染予防対策の確認・相談をおこなった。</p> <p>②シルバー人材センターと訪問型サービスA実施に向けた業務委託契約を締結した。実施前に準備する書類等の助言をおこなった。第2四半期に訪問型サービスAの事業を実施(開始)できるように準備を進めたが、コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等により実施できなかつたので、第3四半期にシルバー人材センターが訪問型サービスAの事業を実施できるように準備を進める。</p> <p>⑤関係各課・関係機関と連携を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>
第3四半期	<p>①12月末サロン・教室参加実人数256名(うちサロン93名、運動教室14名、介護予防教室64名、自主教室85名) コロナウィルスの感染対策をおこない、新規運動教室を実施。自主団体として継続した活動ができるよう支援した。また、サロン等については、消毒薬の配布や感染予防対策の確認・相談をおこなった。</p> <p>④いきいきクラブの新設や新入会員の確保に向け、社会福祉協議会等と連携して、クラブの活動支援に引き続き努める。 シルバー人材センターがより収益を得ることができるよう助言・情報交換を実施していく。</p> <p>⑤関係各課・関係機関と連携を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>①3月末サロン・教室参加実人数261名(うちサロン96名、介護予防教室68名、自主教室97名) コロナウィルスの感染予防をしながら、継続した活動ができるよう相談・支援をおこなった。</p> <p>②シルバー人材センターが、第3四半期に訪問型サービスAの事業を実施(開始)できるように準備を進めたが、従事者等の問題により実施できなかつたが、第4四半期に訪問型サービスAの事業を実施することができた。</p> <p>④いきいきクラブの新設や新入会員の確保に向け、社会福祉協議会等と連携して、クラブの活動支援に引き続き努める。 シルバー人材センターがより収益を得ることができるよう助言・情報交換を実施していく。</p> <p>⑤関係各課・関係機関と連携を取りながら、地域包括ケアシステムの推進に努める。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・各地区のサロンがより活性化していくことを期待する。 ・今後も高齢者が生きがいをもって暮らしていくように 支援体制を行って下さい。</p>	<p>・サロンについては、コロナウィルスの感染状況をみながら、新規開設の支援を行う。また、十分な感染予防対策を実施し、参加者が安心して集うことが出来るよう、会場や活動内容の確認を行う。</p> <p>・各いきいきクラブの自主性を尊重しつつ、県連合会や町社会福祉協議会等と連携し活動の支援を行うほか、自治会長会議等でいきいきクラブ活動の周知・支援等の要請をしていきたい。</p> <p>・高齢者の生きがい活動の充実を図るために、高齢者の豊かな経験、知識、能力を生かした臨時的・短期的な仕事を提供するシルバー人材センターの事業及び運営を支援していきたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	健康福祉課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実				
施策	障がい者の自立と安心して暮らせるまちづくり	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉	10平等			
KPI	芳賀郡障害児者相談支援センター新規相談者数(益子町在住者)	本年度目標値	22	現状値	19	人	
KPI		本年度目標値		現状値			
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ④障がい者優先調達方針を定め、年間の調達目標を設定した。				
	5月						
	6月						
	7月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。				
	8月						
	9月						
	10月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。				
	11月						
	12月						
	1月	①住み慣れた地域での生活継続が出来るよう支援を行う。 ②福祉人材や担い手の育成を行う。 ④障がい者就労支援施設等からの物資や役務の調達を行う。	①障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を図り、障がい者のニーズ把握に努めた。 ②県などが主催する研修計画を事業所に提供すると共に、理解促進のため各種学習会等に職員を派遣した。				
	2月						
	3月						

シート2【 四半期検証シート 】

<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>	
第1四半期	①毎月複数回センター職員と情報共有を図っていることから連携については問題なく行えているものと考えている。しかしながら、障がい福祉サービスに関する地域資源が不足していることから、地域での生活継続支援が困難な状況もある。 ②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。 ④庁内各課に提供できる役務の一覧等を配布し、一層の調達強化を図った。
第2四半期	①センター職員と定期的に情報共有を図っており、連携とニーズ把握に問題はない。 ②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。
第3四半期	①センター職員と定期的に情報共有を図っており、連携とニーズ把握に問題はない。 ②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。
総括（第4四半期含）	①センター職員と定期的に情報共有を図っており、連携とニーズ把握に問題はない。 ②芳賀郡市で組織する自立支援協議会において主催する研修等に積極的に参加し情報収集を行った。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・障がい者が安心して暮らせるように継続が良い。 ・今後も障がい者相談支援センターと相談支援体制の連携を計って下さい。</p>	<p>・職員の人事異動を考えると府内での障害者相談支援体制の専門性向上に限界があることから、今後とも障がい者相談支援センターと緊密に連携を取り、障害者の生活のしづらさを解消していくこととしたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	健康福祉課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる暮らしの充実								
施策	生活に困ったときの支援や自立の推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	—	関連するSDGs	1貧困	3健康・福祉							
KPI	福祉に関する総合窓口の設置	本年度目標値	0	現状値	0	—					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ③福祉に関する相談窓口の設置	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ③前年の相談実績について関係機関への照会を行った。								
	5月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	6月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	7月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ③福祉に関する相談窓口の設置	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	8月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	9月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ②設置の必要性について共通認識を得た。								
	10月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ③福祉に関する相談窓口の設置	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	11月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ③事務レベルでの設置検討会議を開催した。								
	12月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	1月	①財産を守るための権利保護事務の実施 ③福祉に関する相談窓口の設置	①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	2月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。								
	3月		①相談者への後見人制度利用申請までの支援を行った。 ③事務レベルでの設置検討会議を開催した。								

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>①権利保護については、適宜相談を受け協力を行っている。 ③第2四半期に相談実績を基に相談窓口設置に向けた実務者協議を実施する。</p>
第2四半期	<p>②相談窓口設置による問題点や現状の体制のままが良いケースなどを各担当課内で検討し、目指すべき運用体制について意見を集約する。</p>
第3四半期	<p>②総合相談窓口設置に向けて各担当の相談業務量を可視化し、体制の設計を検討した。 民生部長及び各課長に報告し、体制づくりの方向性を確認した。</p>
総括（第4四半期含）	<p>②次年度に向けての活動方針を確認した。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・ぜひ社協との連携をお願いしたい。 ・総合相談窓口設置にむけた体制を整えて下さい。</p>	<p>①設置に向けた取り組みを継続して行っていく。 ②地域福祉計画を社協と連携して策定していく中で、 検討体制の中に社協の協力を得ることをしたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	環境課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進								
施策	脱炭素・脱プラスチック社会の推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	2「住みたいまち」	関連するSDGs	7エネルギー	12つくる・つくる責任	13気候変動	14海の豊かさ	15陸の豊かさ				
KPI	町内電気自動車等保有台数	本年度目標値	59	現状値	43	台					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進	②太陽光発電、充電器設置、バイオマスストーブ等の補助について申請受付を開始。								
	5月	③町内事業者によるRE100 の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。	③RE100の取り組みに向けた打ち合わせ。								
	6月	⑥木質バイオマスエネルギーの新しい利活用方法を検討。	⑤ブリケット(木質燃料)の説明を受ける。								
	7月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進	②太陽光パネル設置申請2件とも交付決定								
	8月	③町内事業者によるRE100 の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。	⑤森林担当者会議(web) (8/2)								
	9月	⑥木質バイオマスエネルギーの新しい利活用方法を検討。	②太陽光パネル設置申請2件 太陽光充電器設置申請2件ともに交付決定								
	10月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進	②太陽光パネル設置申請2件 太陽光充電器設置申請2件ともに交付決定								
	11月	③町内事業者によるRE100 の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。	②太陽光パネル設置申請2件 太陽光充電器設置申請2件ともに交付決定								
	12月	⑥木質バイオマスエネルギーの新しい利活用方法を検討。	②日産自動車の「ブルースイッチ」活動の紹介と町への提案があり、その後意見交換を行った(12/16) 太陽光パネル設置申請2件 太陽光充電器設置申請3件ともに交付決定 ⑤、⑥良品計画との打ち合わせ(12/22)								
	1月	①電気自動車を充電できる施設を増やす。 ②化石燃料に代わる、次世代エネルギーの利用を推進	②太陽光充電器設置(V2H)申請1件交付決定 ⑥バイオマスストーブ設置補助1件、交付決定								
	2月	③町内事業者によるRE100 の取り組みを支援するとともに、公共施設でのRE100の試験的な導入の推進。 ⑤伐採木を薪材等として再利用できるようなシステムを構築する。	②太陽光パネル設置申請1件、交付決定								
	3月	⑥木質バイオマスエネルギーの新しい利活用方法を検討。	②太陽光パネル設置申請1件 太陽光充電器設置申請2件ともに交付決定								

シート2【 四半期検証シート 】

<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>	
第1四半期	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、補助金等の活用がより有効と思われる。また、充電施設に関しても、民間活力に期待しながら、現在4基ある充電施設を増やす取り組みを検討していくことが課題である。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル施設、蓄電池施設、バイオマストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。</p> <p>③RE100宣言については、具体的な内容を調査・研究していく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては、他の先進事例等を参考に検討する。</p> <p>⑥木質バイオマスエネルギーの利用方法等については、他の先進事例等を参考に検討していく。</p>
第2四半期	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、電気自動車購入補助金等の活用がより有効と思われる。また、充電施設に関してはまず、公共の施設での台数の拡充が必要である。ましこ道の駅の充電回数も県内でトップクラスであることから設置が求められる。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル施設、蓄電池施設、バイオマストーブ等の設置補助を行い、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。今年度は蓄電池設置の件数が伸びてきており、自宅の太陽光パネルと蓄電施設は再生可能エネルギーとして理想的と思われることから、補助の拡充が必要と思われる。</p> <p>③RE100宣言については、具体的な内容を調査・研究していく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては検討を行い、これからの時期に受けて、バイオマストーブ等の補助をPRしていく</p> <p>⑥木質バイオマスエネルギーの利用方法等については益子町の特性にあったものをよく検討していく。</p>
第3四半期	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、電気自動車導入の必要性を周知しながら、電気自動車購入補助金等の活用が有効と思われる。また、充電施設に関してはまず、公共の施設での台数の拡充が必要である。ましこ道の駅の充電回数も県内でトップクラスであることから増設が望まれる。「ブルースイッチ」活動の紹介と町への提案後の日産自動車との意見交換の中での、今後の電気自動車増加の整備の考え方を参考にし、電気自動車導入を検討していく。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、太陽光発電パネル施設、蓄電池施設、バイオマストーブ等の設置補助を充実させ、今後も次世代エネルギー利用を推進していく。今年度は蓄電池設置の件数が伸びてきており、太陽光パネルと蓄電施設は再生可能エネルギーとして理想的と思われる。蓄電池等に関する問い合わせが多く、補助事業の予算を増額して対応した。</p> <p>③RE100宣言については、具体的な内容検討はまだ進んでいないが、今後も調査・研究を続けていく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては、持続可能な地域づくりのための包括連携協定を結んだ良品計画に先進事例の情報提供を依頼した。さらに、バイオマストーブ等の補助をPRしていく。</p> <p>⑥バイオマスエネルギーの利用方法等については、良品計画に先進事例の情報提供を依頼した。情報が得られれば益子町の特性にあったものをよく検討していく。</p>
総括（第4四半期含）	<p>①電気自動車保有台数を増やすためには、電気自動車導入の必要性を周知しながら、電気自動車購入補助金等の活用が有効と思われる。また、充電施設に関しては、道の駅ましこのEV充電器の利用頻度が県内でも高いことから増設が望まれる。次年度以降、公共施設への設置等も検討していく。</p> <p>②次世代エネルギー利用推進に関しては、今年度は蓄電池等に関する問い合わせが多く、設置補助の件数が伸びてきており、次年度は、太陽光発電パネル、蓄電池、バイオマストーブ等の設置補助を充実させ、次世代エネルギー利用を推進していく。また、V2Hの補助についても次年度以降、積極的に広報等で発信していく。</p> <p>③RE100宣言については、具体的な内容検討はまだ進んでいないが、今後も調査・研究を続けていく。</p> <p>⑤伐採木の薪材等としての再利用に関するシステムについては、持続可能な地域づくりのための包括連携協定を結んだ良品計画に先進事例の情報提供を依頼した。また、森林環境譲与税で活用可能な取組事例があれば、検討していく。</p> <p>⑥木質バイオマスエネルギーの利用方法等については、先進事例の情報提供をお願いした。情報が得られれば益子町の特性にあったものをよく検討していく。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降への方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・次世代エネルギー利用の際には初期投資も高額になるため、町民が導入しやすい対策をお願いしたい。 ・脱炭素・脱プラスチック社会の推進を行って下さい。</p>	<p>・次世代エネルギー利用の際には、町にあったものを研究、県等し、対策を行っていきたい。 ・脱酸素・脱プラスチック社会の推進は町民への啓発活動をはじめ、国・県の動向を見ながら町にあった方針を考えていく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	環境課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ				
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	40	ヶ所	
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	76	現状値	76	%	
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月			①②森林・多面的機能発揮対策事業書類作成補助 ③前沢町有林維持管理業務委託の業務設計積算 ④アカマツプロジェクトの学校等への連絡			
	5月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施		①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業交付申請 ①②西山里山の会下刈り作業に参加 ①②林地開発防災パトロール参加 ③前沢町有林維持管理業務委託入札の実施 ④アカマツ復活プロジェクトの学校への打診(田野小学校)			
	6月			①②益子花の会下刈作業に参加。森林整備を行いたい地区との現場確認 ③前沢町有林維持管理業務委託契約(芳賀森林組合) ④アカマツ復活プロジェクト(ましこの森個所)下刈り作業に参加。田野小学校の参加の了承を得る。			
	7月			①②森林・多面的機能発揮対策事業認定。とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ③前沢町有林維持管理業務委託作業開始			
	8月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施		①②森林・多面的機能発揮対策事業認定。とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所の軽減や里山の保全を行った。 ③前沢町有林での「土祭」ワークショップに向けて地元関係者、プロジェクトに関係する大学との現地確認等を行った。 ④森林経営計画の準備に関する打ち合わせを行った。			
	9月			①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業(県民税)の追加交付申請 ③前沢町有林維持管理業務 ④森林管理経営研修会(web) 8/27			
	10月			①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。1地区の追加(星の宮共有地保全会) ③前沢町有林を利用した「土祭」ワークショップを実施(10/23)			
	11月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施		①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ③前沢町有林維持管理業務委託作業実施			
	12月			①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ③前沢町有林維持管理業務委託作業完了(12/3) ④アカマツ復活プロジェクト事業を田野小学校児童と実施(12/6)			
	1月			①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ①②森林・多面的機能発揮対策事業3地区(亀岡、益子花の会、小泉)の検査完了			
	2月	①②里山林整備に向けた整備箇所及び地元合意形成状況の把握 ③前沢町有林の整備の検討 ④森林環境譲与税に関する事業の実施		①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ④アカマツ復活プロジェクト事業を益子里山の会と実施(2/21)			
	3月			①②森林・多面的機能発揮対策事業、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業で鳥獣有害鳥獣駆除の被害箇所軽減や里山の保全を行った。 ④アカマツ復活プロジェクト実行委員会開催(3/24)。森林管理計画原案の山本地区①完了			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、益子花の会の円道寺池周辺整備、亀岡八幡宮里山の会の亀岡八幡宮内の小宅古墳群周辺整備など地域の熱心な活動がみられる。また小泉里山の会についても、里山保全に向けた活動を行っており引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業については、里山林整備の新規分0.9ha、継続分55.1haを予定している。新規地区にしては整備団体との打ち合わせをスムーズに行い、支援をしていく。</p> <p>③前沢町有林に関しては、今年度開催されている「土祭」ワークショップにも活用されるため、関係課と綿密な打ち合わせを行い、ワークショップの成果としての地域の声を整備内容に反映していく。</p> <p>④アカマツ復活プロジェクトについては、田野小学校の児童による間伐作業や枝打ち体験及びアカマツ植栽事業を予定しており、森林環境譲与税を活用した事業を実施する。</p>
第2四半期	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、現在3地区が里山保全に向けた活動を行っており、引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また今後、森林多面的機能発揮事業を行いたい地区があれば呼びかけ等を行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業(県民税事業)については、前沢地区の共有林を管理する、星の宮共有地の保全会から管理事業を行いたいとの話があり、追加申請の準備を行った。</p> <p>③前沢町有林に関しては、今年度開催されている「土祭」ワークショップにも活用されるため、関係課と綿密な打ち合わせを行い、ワークショップの成果としての地域の声を整備内容に反映していく。</p> <p>④前年度行った、森林管理計画準備のための打ち合わせを県、とちぎ環境・みどり推進機構を行い、今後の進め方について打ち合わせを行った。</p>
第3四半期	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、現在3地区が里山保全に向けた活動を行っており、引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また、今後、森林多面的機能発揮事業を行いたい地区を選定すべく、呼びかけ等を行っていく。</p> <p>①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業(県民税事業)については、前沢地区の共有林を管理する、星の宮共有地保全会が選定され、1地区追加。</p> <p>③前沢町有林整備に関しては、今年度の「土祭」のワークショップの関連事業としてトレイル散策を実施した。</p> <p>④令和元年度山本①地区の森林管理計画原案を作成するための準備を行った。 アカマツ復活プロジェクトをまじこの森で田野小学校の児童による間伐を行った。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>①②森林・多面的機能発揮対策事業について、現在3地区が里山保全に向けた活動を行っており、引き続き活動を支援できるよう作業への参加や情報交換を行っていく。また、次年度でとちぎの元気な森づくり市町村交付金事業が終了する地区があるため、森林・多面的機能発揮対策事業を活用し、継続的に里山の保全整備ができるよう各団体に周知し、活用してもらうよう呼びかけを行っていく。</p> <p>③前沢町有林整備に関しては、枯れ枝の伐採、側溝清掃、法面補修工事等の維持管理を行った。次年度以降は山桜の管理や遊歩道の整備等を検討していく。</p> <p>④令和元年度山本①地区的森林管理計画原案を作成を行った。人工民有林の管理についての計画であり、今後も引き続き行っていく。アカマツ復活プロジェクトの田野小学校との植栽については、コロナの影響により中止し、里山の会と共同で行った。また、アカマツ復活プロジェクト実行委員会を開催し、今後町内に残るアカマツの維持管理等の方向性を話し合った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・実施地区を広げていっていただきたい。</p> <p>・農山部の景観維持と整備の充実を今後も図って下さい。今後も地域団体による花のまちづくりを推進して下さい。</p>	<p>・実施地区は、今後も呼びかけ、PRを行い、実施地区的推進をしていく。</p> <p>・農山村部の景観維持と整備の充実については、県の交付金事業、また、森林譲与税等を活用しながら、整備を推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	農政課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ				
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	40	ヶ所	
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	76	現状値	76	%	
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月			②4/5～4/16 確認検査(20組織) 4/22 事業概要説明会(芦沼自治会) 長寿命化工事 完了検査(5組織) 前年度事業実施状況報告			
	5月	②多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②草刈り等環境保全活動の推進 ②新規地区(小宅地区)加入推進		②5/14 広域組織および協議会の監査(前年度分) 5/28 広域運営委員会総会(書面決議) 5/28 益子町農地水協議会総会(書面決議) 前年度事業実施状況報告			
	6月			②6/14 長寿命化工事 現場打合せ(塙) 6/24 長寿命化工事 現地測量(小泉) 6/30 県・市町担当者説明会 本体交付金 交付申請事務			
	7月			②7/13 宇都宮市視察受け入れ 7/28 長寿命化工事入札 7月10～12日豪雨被害現地確認 本体交付金 交付申請業務			
	8月	②多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②草刈り等環境保全活動の推進 ②新規地区(小宅地区)加入推進		②8/17 アドバイザー派遣制度打ち合わせ 農業大賞打ち合わせ及び調書作成(里西) 中間評価アンケート(10組織) 活動時の安全管理について注意喚起 本体交付金 交付申請業務			
	9月			②組織の活動状況等の展示(役場ホール) 小宅西・東自治会長へ事業概要の説明 益子町多面的機能支払交付金交付要綱の作成 本体交付金・推進交付金 交付申請業務			
	10月			②10/4～10/15 中間確認検査(21組織) 10/20、10/22 長寿命化完了検査(尾羽の里・星の宮) 10/22 事業概要説明会(小宅西・舟橋自治会) 長寿命化工事箇所現地確認(田野地区他) 本体交付金 交付申請業務			
	11月	②多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②農道・水路施設の長寿命化工事の設計積算及び入札 ②新規地区(小宅地区)加入推進		11/1 事業概要説明会事前打ち合わせ(小宅西・舟橋) 11/2 長寿命化工事現地確認および設計積算(6か所) 11/15～11/17 事業概要説明会(小宅西・舟橋) 11/17 中間確認協議 11/29 長寿命化工事入札(6件)			
	12月			12/9～12/17 活動状況等展示(中央公民館) 12/17 事業開始に向けた打合せ(小宅西・舟橋) 農業大賞関係業務(里西環境保全会) 長寿命化工事 契約関係事務 本体交付金 交付申請業務			
	1月			②1/21、1/27 長寿命化工事の中間確認 長寿命化工事契約関係事務 活動エリアの見直し			
	2月	②多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 ②農道・水路施設の長寿命化工事の推進 ②新規地区(小宅地区)加入推進		②2/25 長寿命化工事の中間確認 長寿命化工事契約関係事務 活動エリアの見直し			
	3月			②長寿命化工事の完了検査(塙、大郷戸、本郷・松本、生田目、長堤) 3/22 県との確認検査(本体交付金・推進交付金) 3/24 第3回栃木県農業大賞表彰式 3/25 北益子地区での事業導入に向けた打ち合わせ			

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>②芦沼自治会において、新規地区拡大に向けた事業概要説明会を実施した。今後も目標値達成のために積極的に説明会やPR等を実施していく必要がある。</p> <p>また、近年、全国的に活動中の事故件数が大幅に増加しており、今年度についても既に25件(うち1件は死亡)の事故が発生している。益子町では今のところ大きな事故は発生したことが無いが、引き続き安全管理について周知徹底する必要がある。</p>
第2四半期	<p>②7月28日に長寿命化工事の入札を実施した。今回入札したのは、昨年度不調となってしまった工事2件で、いずれも落札となった。長寿命化の交付金は交付時期が12月～1月頃と遅く、工事発注のタイミングが業者の繁忙期と重なってしまうため、今後も工事が不調となった場合は次年度の早い時期に再入札を行うよう努めたい。</p> <p>緊急事態宣言により、自治会単位での新規加入説明会等は開催できなかったが、小宅西・小宅東自治会長へ個別に事業概要の説明を実施した。今後も自治会での説明会の開催が難しい状況になる可能性もあるため、自治会長のみに個別に説明を実施するなどして新規地区の加入推進に向けて動く必要がある。また、7月10～12日の豪雨被害のような、異常気象等による災害に対して、本交付金の活動が被害箇所を早急に復旧することに役立っているため、その点も上手くPRしながら新規地区の加入推進を図っていきたい。</p> <p>8月22日に本郷・松本環境保全組合において、水路の草刈り中に転倒し、右手首を骨折する事故が発生した。活動時の安全管理については、定期的に注意喚起を行っているところだが、今回の事故を受け、改めて組織へ注意喚起文書を発出した。今後も定期的に注意喚起を行うとともに、万一事故が発生した場合に直ちに発見・連絡できる体制を整える必要がある。</p>
第3四半期	<p>②10月22日および11月15～17日にかけて小宅西自治会・舟橋自治会で事業概要説明会を実施した。来年度からの事業開始を予定している。(KPI見込み値:78%)</p> <p>11月17日に中間確認協議(栃木県農地水多面的機能保全推進協議会主催)を行い、令和2年度の活動に関する書類の検査を受けたが、大きな指摘事項は無かった。</p> <p>11月29日に長寿命化工事の入札を実施した。今回は6件入札したが、うち5件は業者多忙により不調となってしまった。県へ交付決定の時期を早めてもらえるよう引き続き要望するとともに、今回不調となった工事については来年度の早い時期に再度入札を行うよう努めたい。</p> <p>12月9～17日にかけて、中央公民館の資料展示室において、広報活動として保全会の活動状況等に関する展示を実施した。</p> <p>第3回栃木県農業大賞の農村活性化の部において、里西環境保全会が栃木県知事賞を受賞した。令和4年2月1日に栃木県公館において表彰式が行われる予定である。</p>
総括(第4四半期含)	<p>②1～3月にかけて、今年度分の長寿命化工事の現地中間確認および完了検査を実施した。また、3月22日に本体交付金および推進交付金に係る県の確認検査を受検した。いずれも結果は概ね良好だった。</p> <p>3月24日に第3回栃木県農業大賞表彰式(2月1日から延期になったもの)が行われ、里西環境保全会が農村活性化の部において栃木県知事賞を受賞した。</p> <p>3月25日に北益子地区の住民の方が来庁し、急遽来年度から本事業の導入をすることとなった。来年度4月下旬～5月上旬には令和4年度の交付金要望量調査があるため、それまでに活動エリアの確定および交付金の算定をしておく必要がある。また、現在活動中の組織においても、来年度が活動終期であるため、令和5年度の再認定に向けて現在活動エリアの見直しを行っており、農地転用等による面積の変動があるため、4月中を目安に計画の変更認定申請をする必要がある。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・十分な安全管理を徹底された上で、活発な活動を期待する。</p> <p>・農山部の景観維持と整備の充実を今後も図って下さい。今後も地域団体による花のまちづくりを推進して下さい。</p>	<p>②農地水多面的支払交付金事業は、地域住民が主体となって、農村環境の保全を図る重要な事業である。具体的な活動は草刈りや泥上げ、農道水路の維持補修がメインであるが、活動従事者の年齢が高齢化傾向にあることから、安全管理を徹底したうえで作業に入る必要がある。 こうしたことから、今後は安全対策研修会やKY活動の奨励などを図りながら、継続して本事業を進める。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	生涯学習課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進				
施策	農山村の景観維持と整備の充実	進捗状況	100%				
関連する優先目標	—	関連するSDGs	15陸の豊かさ				
KPI	里山整備実施箇所数(累計)	本年度目標値	40	現状値	40	ヶ所	
KPI	環境保全実施面積(農地)	本年度目標値	76	現状値	76	%	
KPI		本年度目標値		現状値			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花 4月 マリーゴールド育苗作業 12,000株 4月中旬～ ひまわり祭りの準備 4月下旬～ 小宅古墳群看板撤去 4月 実行委員会の開催 4月 ひまわり農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 小宅古墳群テント撤去 4月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月 大規模ひまわり畑 播種作業 6月 ひまわり道路占用許可申請 6月(真岡土木事務所)			⑤花のまちづくり事業小宅古墳群来場者 約10,000名 花のまちづくり実行委員会4/21 マリーゴールド仮植作業12,000株 4/22 小宅古墳群看板撤去 4/22 小宅古墳群テント・テーブル・イス撤去 4/22 ひまわりサミット担当者会議 4/28		
	5月				⑤花のまちづくり事業 マリーゴールド苗配布・植栽		
	6月				⑤花のまちづくり事業 ひまわり打ち合わせ(県土木)6/3 ひまわり打ち合わせ(上山集落営農組合)6/4 ひまわり播種作業(5ha)6/12.13		
	7月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き作業 7月			⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き(5ha)7/21 野木町ひまわりフェスティバル 7/31(土)		
	8月	コスモス農地転用許可申請 7月 会場設営打合せ 7月 野木町ひまわりフェスティバル 7/30(金) ひまわり祭り準備作業 ひまわりの実施(8/7～8/15) コスモス祭り実行委員会開催 9月			⑤花のまちづくり事業 ひまわり祭り準備作業(8/3～) コスモス播種作業(10ha)8/6～ ひまわり畑の実施(8/7～8/22)約14,000人来場		
	9月				⑤花のまちづくり事業 花フェスタ会議9/28 ビオラ播種作業12,000株 9/30 菜の花播種作業		
	10月	⑤花のまちづくり事業 コスモス畑の実施(10/2～10/24)約27,000人来場 花フェスタ用花の展示 ビオラ仮植作業12,000株 10/29					
	11月	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示 ビオラ苗配布・植栽					
	12月	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示 12/8 花フェスタ 12/11 ビオラ苗配布・植栽					
	1月	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示					
	2月	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示 ひまわりサミット担当者会議 2/16 花のまちづくり実行委員会2/22					
	3月	⑤花のまちづくり事業 花フェスタ用花の展示 マリーゴールド播種3/25 菜の花・桜会場準備(3/16～) 菜の花・桜畑の実施(3/26～)					

シート2【 四半期検証シート 】

③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等	
第1四半期	⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみ行うこととなつた。菜の花・桜も規模を縮小して開催したが、前年度よりの来場者が減少した。今後は、感染対策を徹底しながら、ひまわり、コスモスを行う。
第2四半期	⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみなつた。ひまわり畑については、開花中、雨が多く駐車場が開放できない日が多くあった。アンケートを行ったが、好評であった。今後は感染対策を徹底しながら、コスモスを行う。
第3四半期	⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ひまわり祭り、コスモス祭りを中止とし、播種のみなつた。コスモス畑については、天気に恵まれ多くの来場者が来た。アンケートを行ったが、好評であった。今後は感染対策を徹底しながら、今後も開催する。12月11日は、初企画となる「ましこ花フェスタ2021」を行い、益子で生産された花の展示や花に関する絵画展、フラワーアレンジメント教室などを行った。
総括（第4四半期含）	⑤本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、菜の花・桜祭りを中止とし、菜の花の播種行い鑑賞のみとなつた。例年より開花は遅れているが順調に咲いてきている。今後も感染対策を徹底しながら行う。

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・花も益子町の魅力の1つとして活性化していただきたい。 ・農山部の景観維持と整備の充実を今後も図って下さい。今後も地域団体による花のまちづくりを推進して下さい。</p>	<p>花のまちづくり事業がさらに益子町の魅力となるよう新たな取り組みを行っていく。また、各地域団体との連携を強化し花のまちづくりを推進していく。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	環境課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	美しい里山・きれいなまちの推進								
施策	ごみの資源化・減量化の推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	—	関連するSDGs	12つくる・つかう責任								
KPI	1人1日当たりの家庭系ごみの排出量	本年度目標値	400	現状値	449	g					
KPI	リサイクル率	本年度目標値	29	現状値	26.4	%					
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ③地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①前年度第4四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:193t、交付件数:63件、交付金額:1,415,970円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全28t)、小型家電回収量:2.3t、廃油回収量:0.24t、エコ土曜日(資源物回収):4.4t ②環境美化運動の実施:1自治会								
	5月		①生ごみ処理事業回収量:家庭系、19t(全28t)、廃油回収量:0.2t ②環境美化運動の実施:30自治会 ②不法投棄防止看板の設置:仲の内、原、田中 ②益子環境Weeksの実施(5/7,8,9,16,23)								
	6月		①生ごみ処理事業回収量:家庭系、20t(全28t)、小型家電回収量:2.8t、廃油回収量:0.22t、エコ土曜日(資源物回収):5.1t ②不法投棄防止看板の設置:北中、荒町 ②益子環境Weeksの実施(6/1,6,18,20,27)③社会福祉協議会と打合せを実施(6/24)								
	7月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ③地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①第1四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:159t、交付件数:57件、交付金額:1,177,770円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、22t(全31t)、廃油回収量:0.2t ②環境美化運動の実施:1自治会								
	8月		①生ごみ処理事業回収量:家計系、24t(全31t)、小型家電回収量:2.4t、廃油回収量:0.18t、エコ土曜日(資源物回収)1.2t ③社会福祉協議会とNPO法人ま・わ・たとの打合せを実施(8/2)								
	9月		①生ごみ処理事業回収量:家計系、18t(全26t)、廃油回収量:0.18t ①生ごみ処理の方法について広報ましこ9月号で周知 ③社会福祉協議会と打合せを実施(9/21)								
	10月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ③地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①第2四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:138t、交付件数:59件、交付金額:1,022,680円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系、20t(全29t)、小型家電回収量:2.1t、廃油回収量:0.18t、エコ土曜日(資源物回収)3.4t ②環境美化運動の実施:1自治会 ③フードバンク打ち合わせ(10/29)								
	11月		①生ごみ処理事業回収量:家計系、22t(全31t)、廃油回収量:0.16t①EM菌講習会の実施(11/28・38名) ②環境美化運動の実施:29自治会、1育成会 ②不法投棄防止看板の設置:塙上、大平 ③フードドライブの実施(11/15～30 493.4kg)								
	12月		①生ごみ処理事業回収量:家計系、20t(全30t)、小型家電回収量:2.5t、廃油回収量:0.18t、エコ土曜日(資源物回収)4.1t①生ごみ事業PRパネル展示(12/1～24・役場) ②環境美化運動の実施:2自治会 ②不法投棄防止看板の設置:星の宮 ③フードバンクキャンペーン(12/12)・打ち合わせ(12/6、7、21)								
	1月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助金の交付 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収等を実施しリサイクルの促進を図る ③地域の環境美化運動の支援、及び不法投棄防止への取組み	①第3四半期資源物回収奨励金の交付 回収量:182t、交付件数:件、交付金額:1,331,600円 ①生ごみ処理事業回収量:家庭系21t(全32t)、廃油回収量:0.2t								
	2月		①生ごみ処理事業回収量:家庭系16t(全25t)、小型家電回収量:2.1t、廃油回収量:0.22t、エコ土曜日(資源物回収)3.1t ②不法投棄防止看板の設置:塙上								
	3月		①生ごみ処理事業回収量:家庭系19t(全29t)、廃油回収量:0.24t ①ごみの削減への取組に対して先進地となっている徳島県上勝町を視察(3/17, 3/18) ②不法投棄防止看板の設置:本郷2枚、大沢里								

シート2【 四半期検証シート 】

<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>	
第1四半期	<p>①資源物回収については年々減少傾向となってきていているため、自治会や育成会に回収品目の追加を呼びかけると共に利点についてもPRし、継続的に実施していただけるように努めていく。</p> <p>②各家庭から出される生ごみの量は少しづつ減ってきているが、エコ土曜日を利用者は増えているように感じられる。引き続き、循環型社会形成に向けた持続可能な地域づくりの必要性や協力いただきたいことを広報等で周知しリサイクル率が高まるよう努めていく。</p> <p>②環境美化運動はコロナ禍ではあったが、多くの自治会や育成会の協力で実施することができた。今後は個別で実施してくれるところもあるため引き続き袋等の支援をしていく。また、不法投棄防止の看板についても、自治会の要望に応じて設置していく。</p> <p>②環境Weeksについてもコロナ禍の中無事に予定通りの事業を終了することができた。引き続きボランティア活動のPRを図り新規のボランティアと団体との橋渡し的な役割を担っていきたい。</p> <p>③社会福祉協議会との打合せを通して、フードバンクに関する取組の現状を知ることができた。今後町が関わっていけることがあるのかどうか、打合せを重ねながら検討していきたい。</p>
第2四半期	<p>①資源物回収については、新たに1団体が回収に取り組むこととなった。引き続き、資源物回収の必要性についてPRし、新規取組団体や回収品目を増やすことができるよう努めていく。</p> <p>①生ごみの収集量については、夏場は増加したが9月に入り減少に転じている。しかし、生ごみ専用袋を使用している方への特典(生ごみリサイクル還元事業)の申請者は、昨年度同時期の約3.7倍と伸びてきているため、PRの効果がでできていると推察している。また事業系の生ごみを共和化工に搬入する飲食店が1件増えたことと、コロナの緊急事態宣言が解除されたことにより、事業系の生ごみが増加に転じることを期待しつつ、引き続きPRを図っていきたい。</p> <p>②11月28日に環境美化運動を予定しているので、コロナ禍の中ではあるが安全に実施できるように検討していく。</p> <p>③12月にNPO法人ま・わ・たと社会福祉協議会が連携してフードバンクを予定しているので、広報周知や物品の預かり窓口として協力体制を検討していく。</p>
第3四半期	<p>①生ごみ処理事業については、今まで町外に排出していた事業所が町内で処理をすることとなったため、今後処理量の増加が見込まれる。また、役場ロビーで生ごみ処理事業についてのパネル展示を行いPRすることができた。</p> <p>②環境美化運動については、コロナ禍のため一斉実施はかなわなかったが第3四半期中に32自治会、1育成会が実施した。来年度はコロナの状況にもよるが、町内一斉に環境美化運動がスムーズに開催できるように第4四半期に準備を進めていきたい。</p> <p>②ごみのリサイクルの促進を図るため、包括連携協定を締結した良品計画との打ち合わせ等を開始した。10月、11月には土祭期間中にワークショップ「くるくるリサイクル」を実施することができた。2月にはリサイクル率が全国トップの鹿児島県大崎町を視察予定。</p> <p>③NPO法人ま・わ・たと社会福祉協議会と町との共催でフードドライブ及びフードバンクを実施することができた。継続的に実施できるよう今後も関係団体・機関と連携を図りながら実施していきたい。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>①日本で初めてゼロウェイスト宣言を行いリサイクル率が80%を超えている徳島県上勝町のごみ分別状況を視察することができた。上勝町では45分別を実施している。益子町では、今年度新たな品目として、インクカートリッジと充電式電池の回収を始めることができたが、更に分別回収できる品目があるかどうか実施に向けて検討していきたい。</p> <p>②5月実施予定の環境美化運動は、コロナ禍での開催となるため、安全に配慮し実施していきたい。また、地域の不法投棄の抑制につながる看板設置の要望が増えているので、予算の確保に努めていく。</p> <p>③令和4年度も引き続きフードドライブを実施できるよう、社会福祉協議会等と連携を図っていきたい。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・様々な活動を通して、ごみの資源化・減量化に向けた取り組みの継続を期待する。</p> <p>・今後もごみの資源化・減量化の推進を図って下さい。</p>	<p>・ごみの資源化、減量化を更に推進するために、新たな品目の回収について検討していく。 ・エコ土曜日は、リサイクル率向上とごみの減量化に欠かすことのできない事業であるため引き続き継続し、実施回数や時間の延長ができるかについては、実情を見定めて検討していきたい。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	総務課								
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進								
施策	日常を守る災害対策の推進	進捗状況	100%								
関連する優先目標	—	関連するSDGs	—								
KPI	風水害で避難が必要となる自治会(地区)の防災計画策定	本年度目標値	1	現状値	2	自治会					
KPI		本年度目標値		現状値							
KPI		本年度目標値		現状値							
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果							
主な取組内容	4月	①地区防災計画策定支援 警戒レベルチラシの配布	地区防災計画策定打ち合わせ 1回								
	5月		地区防災計画策定打ち合わせ 1回 防災講習会実施(生田目)								
	6月		警戒レベルチラシの配布 地区防災計画策定打ち合わせ 1回 防災講習会実施(シルバーアイきいき講座)								
	7月	①地区防災計画策定支援 防災訓練の実施	地区防災計画策定打ち合わせ 1回								
	8月		地区防災計画策定打ち合わせ 1回 防災訓練の実施(職員のみ)								
	9月		地区防災計画策定打ち合わせ 1回								
	10月	①地区防災計画策定支援 消防団、自主防災組織等連携促進事業	地区防災計画資料作成 生田目地区各戸へ配布								
	11月		新町自治会 消防団、自主防災組織等連携促進支援事業 防災士会による講話								
	12月		新町自治会 消防団、自主防災組織等連携促進支援事業 防災士会による講話								
	1月	①消防団、自主防災組織等連携促進事業									
	2月		新町自治会 消防団、自主防災組織等連携促進支援事業								
	3月										

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>地区防災計画(生田目)の策定があり、月1回程度打ち合わせを行っている。 現在はハザードマップを作成中であり、年度内完成を目指す。 また、災害時の警戒レベルが新しくなったため、チラシを全戸配布した。</p>
第2四半期	<p>地区防災計画(生田目)の策定があり、月1回程度打ち合わせを行っている。 9月の打ち合わせで全体的な資料が完成したため、今後自治会内部で詳細を詰め、年内には各戸に配布予定。</p> <p>8月に防災訓練を行った。 災害対策本部の設置、及びコロナ禍での避難所の設置、運営訓練を実施した。</p>
第3四半期	<p>地区防災計画(生田目)資料が地元でも了承を得たため、 生田目自治会から各戸に配布済。 今後修正があれば、生田目自治会と調整し 実施していく。</p> <p>新町自治会で防災士会による講話を行った。 第4四半期中に消防団と自治会による消火栓、格納箱の 使い方の確認を行う。</p>
総括 (第4四半期含)	<p>新町自治会で2月に消防団と自治会による消火栓、格納箱の 使い方の確認を行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての 次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・防災計画策定を通じた、地元住民の防災意識が減災にもつながると思う。 ・今後も各地区の防災計画策定を推進して下さい。</p>	地域住民の方の防災意識の向上を図るために、計画的な地区防災計画策定支援に努めてまいります。

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	総務課						
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進						
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%						
関連する優先目標	—	関連するSDGs	3健康・福祉						
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	77	現状値	63	件			
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	23	現状値	21	件			
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	2	件			
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果					
主な取組内容	4月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 学生 6回1142人、幼児 3回175人 ②防犯灯設置 22基(蛍光灯→LED:13、新規9) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 免許返納 3人						
	5月			①交通安全教室 学生 1回34人、園児 5回34人 ②防犯灯設置 3基(蛍光灯→LED:1、新規2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 1件 免許返納 3人					
	6月			①交通安全教室 高齢者 2回35人、学生2回287人、園児4回220人 ②防犯灯設置 3基(蛍光灯→LED:3) 青色防犯パトロール実施 免許返納 2人					
	7月			①交通安全教室 幼児 6回310人 ②防犯灯設置 2基(蛍光灯→LED:2) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 1件 免許返納 3人					
	8月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 4回200人 ②防犯灯設置 8基(蛍光灯→LED:3、LED→LED5) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 免許返納 6人						
	9月			①交通安全教室 学生 1回287人、幼児 3回175人 ②防犯灯設置 7基(蛍光灯→LED4:、新規3) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 免許返納 4人					
	10月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 5回236人、未就学児 1回20人 ②防犯灯設置 18基(蛍光灯→LED:7、LED→LED7、新規4) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 3件 免許返納 5人						
	11月			①交通安全教室 学生 1回55人、幼児 7回585人、未就学児 2回35人 ②防犯灯設置 4基(蛍光灯→LED:4) 青色防犯パトロール実施 免許返納 3人					
	12月			①交通安全教室 幼児 4回190人 ②防犯灯設置 19基(蛍光灯→LED:7、新規12) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 免許返納 7人					
	1月	①交通安全教室の実施 ②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 特殊詐欺対策電話機購入補助 ④免許返納事業の実施	①交通安全教室 幼児 5回220人 ②防犯灯設置 8基(蛍光灯→LED:4、新規4) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 1件 免許返納 5人						
	2月			①交通安全教室 幼児 6回230人 ②防犯灯設置 1基(蛍光灯→LED:1) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 1件 免許返納 5人					
	3月			①交通安全教室 幼児 6回128人、高齢者 1回15人 ②防犯灯設置 3基(蛍光灯→LED:3) 青色防犯パトロール実施 特殊詐欺対策電話機購入補助 4件 免許返納 8人					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第1四半期	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、8件(5月末)対前年比 減3件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考える。 刑法犯の発生件数は22件(5月末)対前年比 減18件となっている。</p>
第2四半期	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、13件(8月末)対前年比 減4件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考える。 刑法犯の発生件数は47件(8月末)対前年比 減7件となっている。</p>
第3四半期	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、16件(11月末)対前年比 減4件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考える。 刑法犯の発生件数は62件(11月末)対前年比 減33件となっている。</p> <p>特殊詐欺事件が2件あった。 電話機購入補助について広報等でPRする。</p>
総括 (第4四半期含む)	<p>①交通安全教室等については、継続して行うことで交通事故防止へつながると考える。 交通事故発生件数は、21件(12月末)対前年比 減4件となっている。</p> <p>②青色防犯パトロールについては、継続して行うことで犯罪抑制に効果があると考える。 刑法犯の発生件数は63件(12月末)対前年比 減35件となっている。</p> <p>電話機購入補助について広報まじこに掲載しPRを行った。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降の方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・幅広い世代への啓発に継続して取り組んでいただきたい。 ・特に高齢者への交通事故防止や特殊詐欺被害の防止に努めて下さい。</p>	<p>防犯パトロール、交通安全教室により、関係機関と連携を取りながら、高齢者及び子供たちに啓発を継続していきます。</p> <p>また交通事故防止、防犯に努めています。</p>

第3期ましこ未来計画推進シート

R3(2021)

シート1【 計画・実施状況シート 】		課局名	学校教育課				
基礎目標	1 幸せを感じる暮らしをつくる	政策	安心して暮らせる地域づくりの推進				
施策	防犯・交通安全の意識の高揚	進捗状況	100%				
関連する優先目標	一	関連するSDGs	3健康・福祉				
KPI	刑法犯発生件数	本年度目標値	77	現状値	63	件	
KPI	交通事故発生件数(人身)	本年度目標値	23	現状値	21	件	
KPI	特殊詐欺発生件数	本年度目標値	0	現状値	2	件	
		①年間計画(スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果			
主な取組内容	4月	①スクールガード・リーダー委嘱状交付 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ボランティア保険加入処理 ①スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告 後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ①令和2年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費 補助金交付申請			①スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告依頼(4/1)		
	5月	①4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/6) ①地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(5/17) ①スクールガードの活動保険加入処理(5/27)					
	6月	①5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/1) ①益子西小学校より通学路危険箇所(倒木恐れ)報告あり、地権者に伐採依頼(6/29)					
	7月	①スクールガード装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認			①6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/2)		
	8月	①次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ①益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼			①7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/2)		
	9月	①8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/6) ①令和4年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施予定報告(9/2) ①益子町通学路安全対策推進協議会開催(9/28)					
	10月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知			①9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/4) ①通学路における合同点検の実施一次報告(10/6)		
	11月	①益子町通学路安全対策推進協議会開催予定 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。 また前年度の対策実施後の効果把握。 対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。			①10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/2) ①通学路における合同点検の実施二次報告(11/5)		
	12月	①11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/7)					
	1月	①毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ①新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ①小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ①「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知			①12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/4)		
	2月	①スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ①次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ①令和2年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出			①1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(2/2)		
	3月	①2月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(3/1) ①スクールガード・リーダー謝金の支払い処理・次年度継続確認(3/8) ②広報ましこお知らせ版下半期にスクールガード募集案内掲載(3/13) ②広報配布時自治会回覧にてスクールガード募集案内チラシ配布(3/31)					

シート2【 四半期検証シート 】

	<p style="text-align: center;">③担当課による点検・検証および 次期四半期(第4四半期は次年度)以降の改善点等</p>
第 1 四 半 期	<p>①令和3年度のスクールガード数は76名、平均年齢は63歳である。 当初より人数は、75～85名、平均年齢は64歳前後で推移しており、引き続き新規登録者確保に取り組んでいく。 過去の傾向を見てみると、子や孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。 よって益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
第 2 四 半 期	<p>①9月28日、令和3年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。 (平成26年度から開始し、今回で8回目となる) なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議参加者は学校関係者、真岡警察、真岡土木事務所、町担当者のみとし、スクールガードリーダーからは事前に意見書をいただいた。 今年度新たに申請のあった5箇所の現場検証と、過去に申請のあった危険箇所のうち2箇所の再点検を実施。 その後、事業主体を中心に計7カ所の対策内容を協議した。 また、昨年度までに視察・対策検討済みの51カ所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。 様々な立場の方々による意見交換は大変役に立ち、通学時の現状詳細を充分に把握することができた。</p>
第 3 四 半 期	<p>①益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図は、関係各所による内容確認が完了したため、早期に公表する。また、次期四半期には各小学校の1日入学説明会があるので、スクールガードの勧誘チラシの作成、配布を実施し、新規スクールガード確保に努めたい。</p>
総 括 (第 4 四 半 期 含)	<p>②2月中旬の各小学校入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報、各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。 新規加入者確保のため、募集周知活動の必要性があった。</p> <p>④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図について、2月4日に公表。</p>

シート3【 外部検証委員会・議会からの意見・提言シート 】

	④外部検証委員会の意見・提言	⑤外部検証委員会・議会の意見・提言を受けての次年度以降への方針・改善点
総括	<p>①継続性について このまま継続2人 改善・見直し 廃止・終了</p> <p>②意見・提言 ・地元ボランティアや他機関との共同で地域の安全を守る取り組みに期待する。</p> <p>・スクールガードなどの見守り活動を通して児童生徒の安全を推進して下さい。</p>	<p>・引き続き、スクールガードリーダーと連絡を取り合い、情報を連携し児童生徒の安全確保に努めたい。</p> <p>・スクールガード新規登録者を増やすことで、地域の安全を守る取り組みにつながるため、スクールガードの周知活動に努めたい。</p>